

2026年度通常総会

議 案 書



日 時 2026 年 7 月 10 日(金)16 時 15 分～

場 所 千草ホテル ルミネスタ

九州製鉄所八幡地区協力会(八協会)
はちきょうかい

2026 年度 通常総会次第

1. 開会挨拶

2. 会長挨拶

3. 来賓ご挨拶 北九州西労働基準監督署 古 市 署 長

 北九州東労働基準監督署 石 橋 署 長

4. 特別会員挨拶 九州製鉄所 労働・購買部 池 田 部 長

 九州製鉄所 安全環境防災部 小 林 部 長

5. 2025 年安全衛生活動優秀職場紹介

6. 議 事

（1）報告事項・承認何事項

（2）審議事項

- ・ 第 1 号議案 2025 年度報告
- ・ 第 2 号議案 2026 年度計画（案）
- ・ 第 3 号議案 役員改訂（案）

7. 閉会挨拶

目 次

審議事項

（１）第１号議案

１）2025 年度事業報告	5
---------------	---

（２）第２号議案

１）2026 年度事業計画（案）	12
------------------	----

（３）第３号議案

別表

（１）2025 年安全衛生活動優秀職場	17
（２）八協会組織構成	18
（３）八協会会員事業所一覧表	19

補足資料

・第１号議案 補足資料（１，２）	20～
・第２号議案 補足資料（１，２，３）	34～

※「個人情報、決算・予算情報は非公開です」

2025 年度 事業報告

1. 概況

2025 年の鉄鋼業は、資材高騰や人手不足による国内建設・自動車向けの需要低迷に加え、中国の供給過剰や米国の関税政策に伴う輸出減など、厳しい内外の経営環境に直面し、高付加価値製品へのシフトや脱炭素化投資の舵取り、海外案件の収益化が急務となった一年でした。九州製鉄所におかれましては「変化への挑戦」というスローガン通り、日鉄ステンレスの合併・日鉄鋼管電縫管事業の再編によって新たな仲間が加わり、大型電炉の新設に向けたプロジェクトが本格的に始動しました。

八協会としても日本製鉄九州製鉄所八幡地区と共に歩み連携を深めるとともに、会員各社へ貢献できる企画運営に努めて参りました。具体的には九州製鉄所のご支援を賜りながら計画に沿って QJK 大会や各種研修、二次協ミニマムスタンダード教育など滞りなく実施し、安全活動における「令和安全の鬼」教育を完遂し、2025 年度は修了者のフォローアップへと発展させていくことができました。また一大イベントとなった八協会主催の皿倉山健康登山では、九州製鉄所の皆様、八協会各社社員・ご家族の皆様など千名を超える方々に参加していただき楽しく親睦を深めることが出来ました。大分地区大協会との連携においても、交流の機会を設けお互いの理解が深まりつつあります。

2026 年度も九州製鉄所八幡地区との連携を一層強化し、安全衛生、改善活動、人材育成の各部会活動、及び各製造部会で可能な限り工夫をした企画運営など、八協会会員各社への貢献、それらを可能にする議論の活性化、工夫をした企画運営に務めてまいります。

2. 活動実績

2-1. 2025 年度経営委員会活動 総括

昨年度は、九州製鉄所様のご協力のもと各研修を計画通りのカリキュラムで開催することができました。

人材育成部会の 5 つの階層別研修において、年間 8 回開催し自職場のリーダーを養成すべく、充実した研修効果を発揮することができました。

改善活動部会では QJK 大会を、対面と WEB 配信によるハイブリッド開催で実施し大変好評でした。トレーナー研修、JK 手法研修及び支援者研修においては、パソコンを活用した実践に即した内容に刷新し、大変高い評価を受けております。

また、大協会との連携活動も強化し、相互の大会へのオブザーバ参加などを実施いたしました。

2026 年度の活動につきましても WEB 配信も活用しながら、現状にマッチした研修のやり方を考案して、会員各社の皆様のご要望とご期待に沿えるよう尽力して参る所存です。

2-1-1. 改善活動部会の活動実績

(1) 八協会 QJK の活動実績

業務多忙の中においても QJK 活動を維持いただき、登録サークル数 198 サークルと前年度と同数を維持しています。完結件数は 451 件となり、スリーピングサーク

ル「17年連続ゼロ」を達成しました。八協会 QJK 発表大会を 2 回対面と WEB 配信によるハイブリッドで開催いたしました（開催日；7 月 4 日、12 月 12 日）。

（2）各研修の活動実績

階層別での研修（手法・基本と実践・トレーナー・支援者）にて、初心者から職場サークルリーダー、指導者育成まで幅広く開催企画し、全ての研修にて成果を得ました。

（3）所 QJK 活動との連携

主管部門と連携して改善活動を展開する中、2025 年度の実績は次の通りでした。

- ・所 QJK 大会（年 3 回開催）の各大会へ審査員を派遣いたしました。
- ・第 19 回 QJK 所内大会にて、㈱テツゲンが発表致しました。
- ・常任世話人会へ副会長を含む 4 名を選任しています。

◆詳細は第 1 号議案補足資料 1-2「2025 年度改善活動部会活動実績」を参照下さい。

2－1－2．人材育成部会の活動実績

（1）階層別研修・テーマ別研修の実績

2025 年度の部会活動は、階層別（新人、若手、中堅・職長・作業長、管理者）研修を年 8 回開催しました。工場見学や交流会を企画し、受講者からも大変好評でした。階層にあわせたカリキュラムでの充実した研修内容で、スムーズな進行と共に部会員のレベルアップにもつながりました。

（2）各種行事の開催

九州製鉄所と連携して、5 月にパートナー会社合同採用説明会を開催することができました。

◆詳細は第 1 号議案補足資料 1-3「2025 年度人材育成部会活動実績」を参照下さい。

2－2．2025 年安全衛生環境防災委員会活動 総括

2025 年も、九州製鉄所安全環境防災部のご意見も踏まえ、引き続き「安全基盤強化の取組み」と「安全 3 本柱の浸透と定着」に積極的に取り組み、八幡地区で目標として災害度数率が達成できました。しかしながら、八協会会員事業所全体まで目を転じると、休業 5 件、軽処置 121 件（熱中症含む）の労働災害が発生しています。2024 年に比べ休業災害は－1 件、総件数は－50 件と減少はしたものの、58 件のヒヤリも発生するなど、内容的に「一歩間違えば」という案件も含まれており、引き続き気を引き締めていく必要があります。

安全活動では、九州製鉄所八幡地区と連携した各種パトロールや連絡会及び対話を実施し、八協会単独では過去災害発生事業所のパトロール、行政と連携した研修等、計画通りに推進できました。

教育については、法定教育や階層毎の安全レベルアップ、二次協への安全教育フォロー、安全健康室と連携した教育を実施しています。

2－2－1．安全成績

（1）八協会の安全成績

2025 年の労働災害は、自社災害を含め 121 件で、内訳は休業災害 5 件、不休業災

害以下 116 件（不休業 31 件・軽処置 62 件・熱中症 23 件）でした。休業度数率は昨年より 0.05 下がり 0.21（目標 0.1 以下）でした。

（2）九州製鉄所八幡地区の総合安全成績

九州製鉄所八幡地区総合安全成績は、休業以上 0 件・休業度数率 0.00、不休業 27 件、軽処置 42 件、熱中症 13 件でした。尚、日本製鉄全所の休業災害以上は 15 件（死亡 2 件）でした。休業度数率の目標達成に対し日本製鉄社長表彰を受けました。

【参考情報】

○ 北九州西労働基準監督署管内の災害発生状況（令和 7 年）

所轄署管内の 4 日以上休業災害は 534 件（死亡 2 件）で、対 2024 年では総件数は、184 件減でした。内訳は、製造業は 94 件（死亡 1 件）で、この中には鉄鋼業 5 件が含まれています。建設業は 61 件（死亡 0 件）、運輸交通業・貨物取扱業は合わせて 55 件（死亡 1 件）でした。

○ 北九州東労働基準監督署管内の災害発生状況（令和 7 年）

所轄署管内の 4 日以上休業災害は 433 件で対 2024 年では-8 件で、死亡災害は前年の 1 件に対し 1 件でした。内訳は、製造業は 30 件、建設業は 32 件（内死亡 0 件）、運輸交通業・貨物取扱業は合わせて 70 件でした。

○ 福岡県内の災害発生状況（令和 7 年）

福岡県内の 4 日以上死傷災害発生状況は 6,205 件で、令和 6 年に比べ-5.5%と減となっています。その内死亡災害は 25 件でした。

2-2-2. 主な安全活動

（1）中期的な安全活動

◇「令和安全の鬼教育について」

2021 年 7 月にスタートした「令和安全の鬼教育」は、2025 年 2 月の第 15 回をもって一旦終了し、これまでに 188 名の卒業生を育成しました。教育成果の定着と安全意識の継続向上を目的に、2025 年 6 月から「卒業生フォローアップ研修」を開始しました。卒業生同士のネットワーク強化と現場安全文化の更なる情勢を目指しています。2025 年は 5 回開催し 16 社より参加者 61 名が研修を修了しました。

◇2 次以降協力会社安全教育（ミニマムスタンダード安全教育）の支援とフォロー

2012 年 7 月より実施している元請会社による 2 次以降の協力会社へのミニマムスタンダード教育については、本年も 20 社(28 職場)から実施状況をご提出して頂いており、それを基に全 7 社に対して九州製鉄所との対話も実施されました。今後もレベルアップを図りながら活動を継続してまいります。

2-2-3. 九州製鉄所との連携活動

◇九州製鉄所長－八協会安全防災連絡会の継続開催

2013 年にスタートした安全防災連絡会は、2020 年から総合会員 17 社に縮小し開催しております。全社及び九州製鉄所の災害発生状況及び災害速報の詳細説明を受けた後、所長と出席者との意見交換を行い、最後に所長より再発防止に向けた取り組みの要請を受けます。

◇安全健康室安全推進チームへの派遣

安全推進チームの発足（2009[H21]年 12 月）以来、総合会員会社を中心に当チームへ輪番派遣を開始し 2016 年 11 月からは「安全推進チームとの合同活動」として再スタートしました。更に 2022 年 11 月からは安全健康室への出向扱いとして安全活動へ専念できる環境をつくり、気持ちを新たに「安全留学」としてスタートさせました。所内各現場パトを実践しリスク発掘及び安全感性の醸成、また所安全健康室との関係深化を目的に、職場に戻られてからは培った安全感性を発揮し活躍されています。

2025 年は会員会社 9 社より参加者 12 名が研修を修了、2025 年 12 月までの派遣者数累積は 192 名となりました。

◇九州製鉄所安全朝会への総合会員会社トップ層出席の継続

2013 年にスタートした当企画は、2020 年の新型コロナ禍を機に WEB 会議にて各総合会員会社代表の方に参加して頂き、情報伝達の迅速化を図っています。

尚、所側の朝会メンバーは、所長、副所長、総務部長、生産技術部長、労働・購買部長、安全環境防災部より部長他関係者です。

◆詳細は第 1 号議案補足資料 2-1「2025 年度安全衛生環境防災委員会活動実績」を参照下さい。

2026 年度 事業計画（案）

1. 基本方針

世界経済は、堅調なインド市場などの光があるものの、中国の供給過剰、米国の保護主義、そして中東の地政学リスクという三重苦を抱え、極めて不確実性の高い展開となっているなか、日本製鉄におかれましては国内生産での厳しい経営環境が続いているものの、高付加価値な「高級鋼」へのシフトを進めるほか、堅調な米国やインドといった成長市場での現地生産を強化し、海外での収益確保により難局の打開を図っています。

九州製鉄所におかれましても、「変化への挑戦」を基本方針とし、全社の 3 分の 1 の粗鋼生産量を担う拠点として、「世界最強の大分高炉」と「世界最大の八幡高級鋼電炉」をあわせ持つハイブリッド鉄源による圧倒的なグローバルマザーミルの実現を目指ために「八幡・大分の地区を越えた九州製鉄所一体運営の強化」を加速させようとしています。

八協会もカーボンニュートラルという 100 年に一度の大変革をチャンスと捉え、九州製鉄所八幡地区と引き続き諸課題を共有し、「オール九州」の精神でそれぞれの持ち場で力を尽くし、それぞれの役割に応じた分担、負荷や成果の共有といった基本的な考え方のもと、一丸となって変化に果敢に挑戦し、変化をチャンスと捉え自らの成長に向けた取り組みとしたいと考えています。

また、生成 AI や DX などの生産性向上に対する取り組み、安全な職場づくりや、採用・離職対策などの各社共通の課題解決に向けより一層の直・協、協・協の連携強化を進めていくため、所の安全部門、労働購買部門と連携を深めながら、各社への情報共有、議論を進めたいと思います。

一方で、足元の状況下では八協会活動そのものの生産性向上も必須だと思われるので、更なる WEB 活用等を進めていこうと考えています。

九州製鉄所および会員各社のニーズに合致した八協会の運営を目指していきたく、引き続き皆様からのご支援ご指導を賜りますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。

2. 活動計画

2-1. 経営委員会 活動計画(総括)

若年労働者層の減少や働き方改革など会員各社を取り巻く環境が厳しさを増し、また若手の早期育成も大きな課題であり、経営委員会活動に対するニーズは益々高まってきていると認識しております。そう言った中、研修カリキュラムを更に工夫して、階層別研修や講演など、改善部会及び人材育成部会の活動を展開、また九州製鉄所一体運営強化の視点からの大協会との連携深化等も進めて行きたいと考えております。これまで同様、主管部門はもとより、会員の皆様からのご意見を広く取り入れながら活動を進めて参りますので、どうかご理解ご協力ならびにご支援をよろしくお願いいたします。

2-1-1. 改善活動部会の活動計画

(1) 活動方針

九州製鉄所八幡地区 QJK 活動 2026 年度スローガン「高めよう団結力！ 発揮しよう総合力！ 新たな挑戦 QJK」および基本方針 ①対話とプロセスを大切にし、一

人ひとりの力を結集しよう！ ②明るく楽しく、前向きに！目標に向かって一步一步前進しよう！のもと、研修参加者の声に耳を傾け、部会員の工夫・努力を通じ「自ら学び行動する人材」を推進して参ります。

（２）重点実施事項

改善活動部会では、2026 年度活動目標を下記のとおりに定め本年度の活動を進めて参ります。

１）部会活動の活性化

- ・研修メニューの充実
- ・研修生の技能レベルに応じた、階層別研修内容の検討
- ・アウトソーシングも含めたレベルアップ

① 大協会との連携強化

- ・QJK 活動を中心にできるところから良い活動事例の横展開

② QJK100 回大会の成功

２）スリーピングサークル「ゼロ」の継続

- ・18 年連続達成への挑戦

３）九州製鉄所 QJK 活動への協力

- ・九州製鉄所 QJK 大会の運営支援及びサークル派遣
- ・八協会 QJK 発表大会への関係者招待

◆詳細は、第 2 号議案補足資料 1-2「2026 年度改善活動部会活動方針」を参照下さい。

２－１－２．人材育成部会の活動計画

（１）活動方針

今年度も研修生のみならず、部会員への研修アンケートを実施し、研修内容の充実と円滑を求めて、更なる受講者の皆様の為になる研修を目指してまいります。ご理解の上さらなるご支援、ご協力をお願い致します。

（２）重点実施事項

①階層別研修の実施

新入社員、若手社員、中堅社員、職長・作業長、管理者の 5 階層に対する研修を実施します。

また各部会担当部会員のレベルアップも図りながら、受講生の為になる研修になるよう努めてまいります。

②テーマ別研修等の実施

安全研修、熱中症予防、環境管理、健康管理、防災管理、取引業務厳正化の 6 つの研修を計画します。

また、より多くの方々へ受講して頂く様 WEB(Teams) で開催する予定です。

③所主催研修等への参画

技の鉄人認定、パートナー会社合同採用説明会など所との連携を継続して実施します。

◆詳細は、第 2 号議案補足資料 1-3「2026 年度人材育成部会活動方針」を参照下さい。

２－２．安全衛生環境防災委員会 活動計画(総括)

2026 年も、中長期的課題について、九州製鉄所安全環境防災部のご意見を仰ぎながら、安全

衛生部会企画班メンバーを中心に議論を進めてまいります。

初期の目標をきっちり達成する実行計画を策定すると共に、安全・衛生・環境・防災に対する更なるレベル向上を図り、活動の充実に注力して参ります。

2-2-1. 主な安全活動

(1) 中長期的な安全活動

◇「令和安全の鬼フォローアップ研修」の推進

2021年7月よりスタートした「令和安全の鬼教育」は、2025年2月第15回をもって一旦終講となりましたが、今後、教育成果の向上と卒業生同士の横のつながりを目的として、卒業生188名を対象に「令和安全の鬼卒業生フォローアップ研修」を計15回企画して参ります。

◇職長、工事責任者クラスへの安全衛生教育

2026年についても、直近の災害内容を踏まえ、職長、工事責任者クラスへの安全教育として、リスクマネジメントのレベルアップを目標に、教育を企画実行してゆく計画です。

◇二次以降協力会社安全教育(ミニマムスタンダード安全教育)の支援とフォロー

二次以降協力会社をもつ元請会社代表21社において、協力会社へのミニマムスタンダード安全教育の実施状況について報告書の提出を受け、この実績に基づいて所代表(労働・購買部、安全環境防災部)と、年7社ずつ(3年毎)の計画で対話頂きます。

2-2-2. 九州製鉄所との連携活動

(1) 九州製鉄所長一八協会安全連絡会の継続開催

八協会総合会員会社17社の代表者が出席し、全社及び所から安全衛生・環境防災に関する情報を共有化しています。今年度からは大分地区と合同による九協会安全連絡会として九州製鉄所一体となった活動を推進します。

(2) 安全健康室安全推進チームへの安全留学の継続実施

各協力会社での安全知識向上、パトロールスキル向上、人脈づくりを目的とした「安全推進チームとの合同パトロール活動」は、2022年11月より「安全留学」と改め、日本製鉄安全健康室へ3ヵ月間短期出向する形態へと変更し、継続していきます。

(3) 九州製鉄所 八幡地区 安全朝会への八協会総合会員会社トップ層出席の継続

2020年の新型コロナ禍を機に WEB 開催化され遠隔での参加が可能となったこともあり、現在では出席を総合会員会社17社に加え大分地区まで広げた、情報の共有化、迅速化を推進しています。今後も安全日報の配信も含めて継続して参ります。

(4) 九州製鉄所八幡地区・八協会「月例安全祈願祭」の継続举行

本企画は今年も継続実施されます。参列者は、所側は所二役・主管部門長(20名)、八協会側は総合会員代表者・製造部会等部会長(24名)です。

(5) 安全基盤強化に向けた安全教育の取組み

安全弱点を克服するにあたり直協一体となった安全教育を実施します。特に TBM-KY eラーニングによる危険感性の向上及び、2年毎開催される労災かくし防止教育を展開します。

◆詳細は第2号議案補足資料 2-1「2026年安全衛生委員会活動計画」、及び 2-2「2026年安全衛生教育計画」を参照下さい。

【別表 1】

2025年 安全衛生活動優秀職場特別表彰

部 会 名	職 場 名
総務・労働購買部	(株)スピナ ビルサービス部 営業二課
	日鉄ビジネスサービス(株) 九州事業所(八幡)総務部
品質管理部	日鉄テクノロジー(株) 九州事業所 試験部 戸畑試験分析課 薄板めっき試験係
工程業務部	日鉄物流(株) 九州支店 構外物流部 構外陸運課
	(株)峰製作所 八幡支店
製鉄部	津山興産(株) 戸畑事業所
	濱田重工(株) 八幡支店 選炭物流課
製鋼部	黒崎播磨(株) ファーネス事業本部 九州・山口事業所 八幡整備グループ
	(株)アステック入江 八幡支店 製鋼課
棒線部	(株)ケイティエル 生産部 線材課
形鋼部	三栄工業(株) 八幡工場 生産管理課 機工班
薄板・ブリキ部	日鉄物流(株) 九州支店 戸畑物流部 構内輸送課
電磁鋼板部	日鉄電磁(株) 九州工場 精整課 機動班職場
スパイラル鋼管部	石川金属工業(株) 八幡支店 生産二課
資源化推進部	日進機工(株) 戸畑事業所
設備部	日鉄環境(株) 九州支店 水道部 整備室
	山九(株) 八幡支店 製鋼整備グループ
	日鉄物流(株) 九州支店 機工部 機械工事課
	日鉄テックスエンジ(株) 機械事業本部 整備事業部 八幡機械整備部 圧延整備グループ
	(株)高田工業所 整備部 銑鋼エネルギー整備課
エネルギー部	(株)枕組 工事部
	(株)志道工務店 土木工事部 作業課
厚板部	三島光産(株) 八幡事業部 ステンレス課
関連部	清新産業(株)
	九州冷熱(株)

別表3

2026年6月10日

九州製鉄所 八幡地区協力会 (八協会) 会員事業所一覧表

【総合会員 17社】

会員 No	会 員 名	会員 No	会 員 名	会員 No	会 員 名
A02	(株)アステック入江 八幡支店	D13	(株)高田工業所八幡支社	E16	日鉄電磁(株)九州工場
A16	(株)奥村組 九州支店	E09	日鉄環境(株)九州支店	E20	日鉄物流(株)九州支店
B17	九築工業(株)八幡支店	E12	日鉄スラグ製品(株)九州事業所	F07	濱田重工(株)八幡支店
B21	黒崎播磨(株)ファース事業本部 九州・山口事業所	E13	日鉄プロセス(株)小倉工場	G05	三島光産(株)
B23	(株)ケイティエル	E14	日鉄テクノロジー(株)九州事業所	H07	吉川工業(株)八幡支店
C03	山九(株)八幡支店	E15	日鉄テックスエンジ(株)八幡支店		

【一般会員 152社】

会員 No	会 員 名	会員 No	会 員 名	会員 No	会 員 名
A01	旭興産(株)九州事業所	C14	進和テック(株)九州支店	E22	日鉄ロールズ(株)
A03	アズビル(株)九州支社	C15	住友電設(株)八幡工事事務所	E23	日本エスエム(株)日本製鉄関連事業所
A04	東海運(株)八幡営業所	C17	(株)スガテック プラント事業部	E24	(一社)日本海事検定協会 九州第一事業所
A05	アタカ(株)	C18	(株)菅原 北九州営業所	E25	(一社)日本貨物検査協会 八幡事務所
A06	(株)アダチ	C19	(株)スピナ	E26	日本乾溜工業(株)
A07	(株)安藤・間 若松作業所	C20	住友商事九州(株)北九州支店	E27	日本金属(株)北九州営業所
A08	石川金属工業(株)八幡支店	C21	清新産業(株)	E28	日進機工(株)
A09	(株)伊藤油化工業所	C22	製鉄曳船(株)	E29	日本工装(株)C S C 九州
A10	(株)エムテック 戸畑事業所	C24	(株)製鉄酸素配給センター	E30	日本重化学工業(株)八幡営業所
A11	MI万世ステンレス(株)八幡工場	C26	(株)総合テクノ	E31	日本磁力選鉱(株)
A12	日鉄物産ワイヤ&ウェルディング(株)	C27	(株)ソルネット	E32	日本スピング(株)小倉営業所
A13	大石塗装(株)	D01	太平運輸(株)	E33	リタケ(株)北九州営業所
A14	(株)大林組 北九州営業所	D02	大光炉材(株)	E34	(株)直方建機 飛幡営業所
B01	鹿島建設(株)九州支店	D03	太平商事(株)	F01	(株)パソナ パソナ・小倉
B02	梶原塗装(株)	D04	太平電業(株)日本製鉄戸畑事業所	F04	幡和工業(株)
B03	片山ナルコ(株)北九州営業所	D05	第一高周波工業(株)西田工場	F05	八祥産業(株)
B04	(株)花組	D06	大栄(株)戸畑事業所	F08	(株)浜地塗装工業
B05	(株)上組 八幡支店	D07	ダイキ工業(株)	F09	平松運輸(株)
B06	環境開発興業(株)	D08	(株)ダイソアプロライドシステムズ 北九州営業所	F10	(株)フォスベル・アジア・リミテッド
B07	北九州エル・エヌ・ジー(株)	D09	(株)大創	F11	富士岐工産(株)北九州工場
B09	北九州クレーン協会	D10	(株)大東	F12	(株)富士交易 九州支店 八幡営業所
B10	キャタピラー九州(株)北九州支店	D11	大和産業(株)小倉事業所	F13	(株)フジコー 北九州オールテック部
B11	(一財)九州健康総合センター	D12	大和製罐(株)新戸畑工場	F14	(株)フジタ 九州支店
B12	喜楽鋳業(株)北九州工場	D14	中央塗装(株)	F15	藤田商事(株)
B13	九州ゴム製品販売(株)	D15	中外炉工業(株)	F16	不動鋼板工業(株)
B14	九州製紙(株) 北九州工場	D16	津山興産(株)戸畑事業所	F17	豊誠工業(株)
B15	九州美装(株)	D17	鶴丸海運(株)	G01	(株)松尾設計
B16	九州冷熱(株)	D18	出口産業(株)北九州営業所	G02	松田産業(株)
B18	共和技研(株)福岡出張所	D19	中央工機産業(株)北九州営業所	G03	丸栄産業(株)戸畑出張所
B19	くろがね工業(株)	D20	(株)テツゲン 九州支店 八幡事業所	G04	帝産業(株)
B20	(株)黒木工業所鞍手工場	D21	東亜非破壊検査(株)北九州営業所	G06	三井物産プロジェクトソリューション(株) 西日本支社
B22	九州運輸建設(株)輸送事業所	D22	東興ジオテック(株)北九州営業所	G07	ミドリ安全北九州(株)
B24	(株)ケイハン戸畑工場	D23	東南貿易(株)八幡営業所	G08	(株)峰製作所 八幡支店
B25	玄海産業(株)	D24	東洋シャッター(株)北九州営業所	G09	ミンテックジャパン(株)大阪営業所
B26	高圧ガス工業(株)北九州営業所	D25	東洋精工(株)	G10	(株)守谷商会北九州営業所
B27	鴻池運輸(株)インゾリアンク支店	D26	(株)東洋ビルド	G11	(株)ミック九州
B28	(株)鴻池組 九州支店	D27	九州共同発電(株)戸畑共同発電所	G12	前田環境(株)若松事業所
B29	光洋金属工業(株)	D28	富安(株)北九州事業所	H02	八幡通船運輸(株)
B30	光和精鉱(株)	D29	洞海産業(株)	H03	八幡生コン工業(株)
B31	エネクスフリー(株)産業エネルギー部	D30	洞海電池電業(株)	H04	八幡板金工業(株)
C01	西部ガス(株)北九州供給部	E02	(株)西日本開発工業	H05	山口合同ガス(株)下関支店供給部
C02	三栄工業(株)	E03	(株)西日本サニタリーセンター	H06	(株)山本工作所
C04	産機エンジニアリング株式会社 北九州事業所	E04	西日本プラント工業(株)戸畑事業所	H08	(株)吉村太陽商会
C05	(株)S A N W A	E06	日新興業(株)八幡支店	H09	(株)九州サンソセンター 八幡工場
C06	シグノード(株)北九州システムセンター	E07	日新電機工作(株)小倉営業所	J01	リードテック(株)
C07	(株)志道工務店	E08	日鉄空調(株)	J02	ロザイ工業(株)九州工場
C08	(株)志磨テック	E10	日鉄建材(株)戸畑工場	K01	(株)ワシダ 北九州支店
C09	新川電機(株)北九州支店	E11	日鉄高炉セメント(株)	K02	若築建設(株)北九州営業所
C10	日鉄インゾリアンク(株)北九州技術センター	E17	日鉄ハードフェイス(株)九州製造所		
C11	日鉄ソリューションズ(株)八幡システムセンター	E18	日鉄ビジネスサービス(株)九州事業所		
C12	新日本熱学(株)戸畑事業所	E19	日鉄保険サービス(株) 八幡支店		
C13	新日本非破壊検査(株)戸畑出張所	E21	日鉄防食(株)		

通常会員：169社（総合会員17社・一般会員152社）

特別会員：九州製鉄所 八幡地区

第 1 号議案（事業報告）補足資料 目次

【経営委員会】

補足資料 1-1	: 2025 年度経営委員会 活動実績表	……………21
補足資料 1-2	: 2025 年度改善活動部会 活動実績	……………22
補足資料 1-3	: 2025 年度人材育成部会 活動実績	……………24

【安全衛生委員会】

補足資料 2-1	: 2025 年安全衛生委員会 活動実績表	……………26
補足資料 2-2	: 同 活動の詳細	……………27
補足資料 2-2-1	: 同 災害分析と考察	……………31
補足資料 2-3	: 2025 年安全衛生部会 主要活動実績	……………32
補足資料 2-4	: 2025 年安全衛生教育実績	……………33

2025年度 経営委員会年間活動実績表

2026/3/11

九州製鉄所八幡地区協力会

	項目	場所	目的	頻度
1.共通	(1)九州製鉄所QJK大会	マルチホール	九州製鉄所JK大会参画と連携	3回/年
	(2)八協会QJK大会	マルチホール	八協会全体の J K 活動レベルアップとサークル員の達成感向上	2 回/年
	(3)大協会QJK大会	大協会SPセンター	他地区 J K 大会参加による技能向上と交流懇親を図る	1回/年
	(4)合同採用説明会	小倉AIM	八協会各会社のPR活動、人材確保	1回/年
	(5)八協会だより	機関紙発行	改善活動部会、人材育成部会活動内容情報発信	2 回/年
	(6)技の鉄人認定・表彰	各社	固有技術の表彰と技能伝承・人材育成	1回/年

2025.3	2025.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026.1	2	3
			●6/18（八幡）			●9/4（大分）			●12/3（八幡）			
				●7/4					●12/12			
					●8/7							
		●5/30										
						●9/1発行			●			

	項目	研修名	場所	目的	頻度		2025.3	2025.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026.1	2	3
2.改善活動部会	(1)定例会議	-	安全衛生教育C	研修振り返りと活動予定確認	1 回/月			●4/15	●5/20	●6/17	●7/15	●8/19	●9/16	●10/21	●11/18	●12/16	●1/20	●2/18	●3/18
	(2)研修	①手法	飛幡ビル	弱経験者を対象に、QCサークル活動の基本と問題解決型QCストーリーについて学ぶ	5回/年	予定		○4/18	○5/23		○7/18		○9/11					●2/6	
						実績		●4/18	●5/23		●7/18		●9/11						
		②基本と実践	飛幡ビル	職場のサークルリーダーを育てることを目的として、現状把握～標準化までの一連の手法を学ぶ	3回/年	予定									○11/13-14		●1/15-16	●2/19-20	
						実績									●11/13-14				
		③トレーナー	飛幡ビル	自主管理活動の基本と実践研修実習を通じて、トレーナーを養成する	5回/年	予定						○8/21-22		○10/22-23	○11/13-14		●1/15-16	●2/19-20	
						実績						●8/21-22		●10/22-23	●11/13-14				
		④支援者	飛幡ビル	サークル活動の支援、指導できる人材の育成	1回/年	予定									○10/9				
						実績									●10/9				
		⑤未然防止型	ウェル戸畑	職場における重要問題を発生させない、再発させないための手法を学ぶ	1回/年	予定				○6/6									
						実績				●6/6									

	項目	研修名	場所	目的	頻度		2025.3	2025.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026.1	2	3
3.人材育成部会	(1)定例会議	-	安全衛生教育C	研修振り返りと活動予定確認	1 回/月			●4/9	●5/14	●6/11	●7/9	●8/12	●9/10	●10/8	●11/12	●12/10	●1/7	●2/11	●3/11
	(2)協力会社連携室定例	-	総合C N12会議室	研修振り返りと活動予定確認	1 回/月			●4/16	●5/21	○6/18中止	●7/16	●8/20	●9/17	●10/15	●11/19	●12/17	●1/21	●2/18	●3/18
	(3)階層別研修	①新入社員	人材育成センター No11研修室	【基本・基礎確率】 鉄づくりの基礎知識・マインドの醸成・仕事の基本習得	2 回/年	予定											●1/14	●2/13	
						実績													
		②若手	人材育成センター No11研修室	【一人前の自覚】 中核者としての知識習得・視野の拡大と交流	2 回/年	予定						○8/7-8		○10/16-17					
						実績						●8/7-8		●10/16-17					
		③中堅	人材育成センター No11研修室	【職場リーダーへの育成】 管理監督候補者としての意識醸成や視野の拡大と交流	2 回/年	予定									○11/5-6 ○11/26-27				
						実績									●11/5-6 ●11/26-27				
	(4)職長・作業長	④職長・作業長	人材育成センター No35研修室	【管理能力向上】 指示・管理に必要な知識習得、共通課題共有化	1 回/年	予定			○5/15-16										
						実績			●5/15-16										
		⑤管理者	人材育成センター No35研修室	【リーダーシップ】 管理知識、マインドの醸成、共通課題共有化	1 回/年	予定				○6/26-27									
						実績				●6/26-27									
		(4)テーマ別研修	①健康	Teams	【健康管理】 65才までの能力最大発揮を目指した心身の健康づくり	1 回/年	予定	○3/19											
			講師；田中産業医			実績	●3/19												
			②環境	Teams	【健康管理】 熱中症予防	1 回/年	予定		○5/28										
			講師；中西産業医			実績			●5/28										
		③防災	Teams	【環境問題】 環境リスク事案の認識と不祥事防止	1 回/年	予定				○6/23									
			講師；中村主査			実績				●6/23									
	④安全	マルチホール・Teams	【防災教育】 事業所における自主防火・防災管理の重要性	1 回/年	予定					○7/28									
			講師；北九州市消防局 入門防災啓発係長			実績				●7/28									
		マルチホール	【安全管理】 八幡地区安全活動理解とTBM・KY実施方法	1 回/年	予定						○8/27								
			講師；弘中主幹			実績					●8/27								
	⑤業務	Teams	【取引業務適正化】 取引業務に関する法令理解と遵守	1 回/年	予定								○9/18						
			講師；沢田主幹			実績							●9/18						

2025年度改善活動部会活動実績

1. 2025年度活動を振り返って

九州製鉄所スローガン『高めよう団結力！ 発揮しよう総合力！ 新たな挑戦 QJK 』の下で QJK 活動を支援するための研修及び QJK 大会の開催に向けた活動を行いました。2025 年度は各研修内容をパソコン活用した実情にあったものに改善し、受講者からも高い評価を得ております。

QJK 事務局が進めるスリーピングサークル“ゼロ”の目標を 17 年連続で達成することができました。業務多忙の中、会員各社において QJK 活動を維持頂いたことを厚く御礼申し上げます。

2. 八協会 QJK 活動実績のポイントと部会活動特記

1) 所 QJK 事務局主管協力会社活動状況

	2025 年度	2024 年度
登録サークル数	: 198C	188C
完結件数	: 451 件	471 件
特別賞比率	: 7.8%	5.3%
サークル当り完結件数	: 2.3 件/C	2.5 件/C

スリーピングサークル『ゼロ』を 17 年連続で達成しました。

2) 2024 年度八協会 QJK 活動年間特別賞の表彰

QJK 活動実績が優秀だったサークルを八協会年間優秀賞として発表大会で表彰し、活動継続への意識の高揚を図りました。表彰サークルの会社名は以下の通りです。

年間最優秀賞：日鉄物流(株)九州支店

年間優秀賞：日鉄テックスエンジ(株)、日鉄電磁(株)、(株)アステック入江、濱田重工(株)

年間優良賞：山九(株)

年間奨励賞：九築工業(株)、黒崎播磨(株)、(株)ケイティエル、日鉄テクノロジー(株)、日鉄スラグ製品(株)

3) QJK 研修会実績 240 名

手法研修	: 92 名
基本と実践研修	: 49 名
トレーナー研修	: 14 名
支援者研修	: 10 名
未然防止型	: 75 名

4) 八協会 QJK 発表大会

第97回大会	2025 年 7 月 4 日	対面と WEB のハイブリッド開催
第98回大会	2025 年 12 月 1 2 日	〃

毎回多数のご参加をいただき、発表サークルの大きな励みや刺激になっており感謝申し上げます。

3. 所との連携による八協会 Q J K 活動実績

1) 所 QJK 大会での事例発表

第 19 回大会 (株)テツゲン

2) 6 S コンクール

九築工業(株)が見事銅賞を獲得しました。

3) 所 QJK 年間表彰の受賞

①協力会社表彰

日鉄環境(株) 北九州センター

濱田重工(株) 八幡支店

②協力会社サークル表彰

日鉄物流(株) 九州支店

J・BOY サークル

濱田重工(株) 八幡支店

ノンストップサークル

濱田重工(株) 八幡支店

パイオニアサークル

第一高周波工業(株)八幡地区

クリエイトサークル

4) 所 QJK 活動への参画

①常任世話人会への参画

常任世話人会副会長：1 名 (株)ケイティエル)

常任世話人：3 名 (日鉄物流(株)、濱田重工(株)、日鉄プロセッシング(株))

各社からの 4 名の部会員が、所 QJK 活動の企画運営に参画致しました。

②所 QJK 大会の審査員を担当いたしました (部会長、副部会長及び代表幹事)。

5) 所 QJK 事務局との連携

所人材育成センター・QJK 事務局 竹内センター長に、改善活動部会の月例会議へご出席いただき、所の活動状況および活動方針等の情報の共有化を進めました。

6) 所と協調しての QC サークル (九州支部北部九州地区) 幹事会社活動

幹事会社 : 山九(株)

日鉄テックスエンジ(株)

日鉄物流(株)九州支店

以 上

2025年度 人材育成部会活動実績

I. 2025年度活動を振り返って

2025年度の部会活動は、通常カリキュラムによる研修を開催することができました。

工場見学や交流会も開催し、受講者からも大変好評でした。

また近年部会員の入れ替わりが激しく研修の進行が心配されましたが、研修内容を具体的にマニュアル化し、スムーズな進行と共に部会員のレベルアップにもつながりました。

今後も研修内容をより充実させてまいりますので、皆様のご協力お願い致します。

II. 各階層別研修 [九州製鉄所協力会社連携室との合同開催]

1. 新人社員研修

第1回 2026年1月14日 参加： 66名/14社

第2回 2026年2月13日 参加： 52名/13社

【実施内容】 ・通常開催（対面集合にて開催）
・工場見学（旧本事務所見学も含め実施）



新人社員研修(旧本事務所前にて)

2. 若手社員研修

第1回 2025年 8月 7日～8日 参加： 27名/13社

第2回 2025年10月 16日～17日 参加： 29名/14社

【実施内容】 ・通常開催（対面集合にて開催）
・工場見学(高炉工場及び熱延工場)及び交流会を実施
・外部講師とのグループディスカッションを実施

3. 中堅社員研修

第1回 2025年 11月 5日～6日 参加： 36名/14社

第2回 2025年 11月 26日～27日 参加： 24名/12社

【実施内容】 ・通常開催（対面集合にて開催）
・工場見学(第1回;棒鋼工場, 第2回;熱延工場)及び交流会を実施
・外部講師とのグループディスカッション実施

4. 職長・作業長研修

開催日 2025年 5月15日～16日

参加 20名/11社

【実施内容】 ・通常開催（対面集合にて開催）
・工場見学(製鉄工場)及び交流会実施
・外部講師とのグループディスカッション実施



職長作業長研修(人材育成センター)

5. 管理者研修

開催日 2025年6月 26日～27日

参加 19名/11社

【実施内容】 ・通常開催（対面集合にて開催）
・副所長講話
・工場見学(製鋼工場)及び交流会実施
・外部講師とのグループディスカッション実施



管理者研修・講話(人材育成センター)

Ⅲ. テーマ別研修、他 [九州製鉄所協力会社連携室との合同開催]

1. テーマ別研修

(1) テーマ「環境管理」講演会 … WEB開催

【実施日】 2025年6月23日 参加者: 118アクセス

【講師】 九州製鉄所 安全環境防災部 環境防災室 中村主査

(2) テーマ「防災管理」講演会 … 対面集合開催 (WEB同時配信)

【実施日】 2025年7月28日 参加者: 対面 56名, WEB(Teams) アクセス数 210件

【講師】 北九州市消防局 防災啓発 入門係長

(3) テーマ「安全管理」講演会 … 対面集合開催 (WEB同時配信)

【実施日】 2025年8月27日 参加者: 対面 96名

【講師】 九州製鉄所 安全環境防災部 安全健康室 弘中主幹

(4) テーマ「取引業務厳正化」講演会 … WEB開催

【実施日】 2025年9月18日 参加者: WEB(Teams) アクセス数 114件

【講師】 本社 財務部 財務会計センター 沢田 主幹

(5) テーマ「健康管理」講演会 … WEB開催

【実施日】 2026年3月24日 参加者: WEB(Teams) アクセス数 256件

【講師】 九州製鉄所 安全環境防災部 安全健康室 大藪産業医

2. 第18回パートナー会社採用合同説明会

【実施日】 2025年5月30日 参加会社: 21社 学校参加者: 37校

【開催場所】 【説明会】小倉 AIM ビル 【意見交換会】リーガロイヤルホテル

3. 2025年度 人材育成フェア開催

【実施日】 2026年1月28日 *『技の鉄人』認定式のみ実施

I 安衛・経営委員会共通事項

活 動 内 容			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
共通事項	催 事	・賀詞交換会	● 1/6												
		・殉職者慰霊祭 ・稲荷祭 ・物故者慰霊祭				○稲荷祭				○物故者慰霊祭	● 11/15慰霊祭 一般献花				
	会 議 等	・九協会定例会議(大協会との連携強化)							●(八幡地区開催)						#1回/年開催
		・通常総会							● 7/11						合同委員会と合同開催有り
		・理事会(1月、4月、7月、10月の原則第一水曜日)、 臨時理事会(3月、6月、12月)	● 1/14		● 3/12	● 4/9		● 6/18	● 7/9		● 10/8		● 12/10		
		・企画運営委員会	● 1/9	● 2/7	● 3/7	● 4/4	● 5/9	● 6/6	● 7/4	● 8/5	● 9/5	● 10/2	● 11/7	● 12/5	
		・安全衛生委員会・経営委員会 合同開催(原則毎月第二水曜日)	● 1/14	● 2/12	● 3/12	● 4/9	● 5/13	● 6/11	● 7/9	● 8/8	● 9/10	● 10/8	● 11/12	● 12/10	
		・九州製鉄所長－八協会安全連絡会(原則毎月第一月曜日)	● 1/20	● 2/6	● 3/6 ● 3/31		●	●	●	●	●	●	●	●	
・安全衛生部会	● 1/10	● 2/6	● 3/6	● 4/7	● 5/12	● 6/9	● 7/7	● 8/7	● 9/4	● 10/6	● 11/10	● 12/9			

II 安全衛生委員会活動

		活 動 内 容												備考	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
活動事項	2025年主要活動	行事	・安全祈願祭 ●1/7所 安全祈願祭 8° ・健康血倉登山、健康野外行事 ●4/12 血倉山健康登山 ・夏季ゼロ災活動、年末年始ゼロ災活動 年末年始ゼロ災活動 ● 弱点克服活動 ← 夏季ゼロ災活動 → ● 年末年始ゼロ災活動												●12/1、18° 八協会
		教育・講習会	・入構者安全衛生教育(安全技能センター) ・危険体感教育(安全技能センター) ・特別教育【粉じん、研削砥石、アーク溶接、低圧電気、酸欠(二種)、振動工具】 ・職長教育 ・安全衛生責任者教育 ・安全管理者選任時教育、安全衛生推進者教育〔八幡基準協会主催〕 ・行政と連携した安全研修〔北九州西労働基準監督署安全衛生課〕 ・熱中症予防講習会他												要領見直し 新人除き、1回/3年へ変更 酸欠に硫化水素を追加 職長教育 *安貴教育 選任時、推進 ● 安全衛生研修会
		●5中旬 熱中症予防講習会～講師：八幡地区産業医(WEBにて開催)												熱中症予防教育	
活動事項	2025年主要活動	1. 九州製鉄所八幡地区と連携した安全衛生活動 (1)安全基盤強化の取り組み ① 安全教育(危険感性向上教育、労災かくし模倣) ② 安全衛生活動の仕組みの強化(弱点克服活動、TBM・KYフローシート浸透) ③ 安全設備対策の拡充(機械安全、高リスク作業改善、安全見守り活用拡大) (2)安全3本柱の浸透と定着 【基本行動の徹底による人づくり】 ① ルール厳守とリスク改善 ② 弱点克服活動(ボトムアップ) ③ 危険感性向上教育(KY教育、訓練の実施) 【風化防止による安全安心なもののづくり】 ① 工事条件設定確認 ② 特例許可作業の再評価と見直し ③ 職場固有ルールの「かたづけ」活用 【風通しによる職場づくり】 ① TBM・KY浸透定着の確認と対話 ② 主管と協力会社の本音対話を通じた安全活動 ③ 新規設備・既設設備・実作業のリスクアセスメント実力向上 (3)快適な作業・職場環境に向けた継続的・計画的な改善の推進 ① 化学物質の自主管理 ② 作業環境管理と改善 ※安全健康室 安全推進チーム－安全留学(3カ月/人)												九州製鉄所安全朝会出席(WEB)、 所長－八協会安全環境防災連絡会 九州製鉄所八幡地区安全防災最優先浸透パトロール参加(1回/月、3班) 副所長－事業所代表者合同パトロール (a社:日物・テックス・環境・濱田・山丸、 b社:A&A入江・九築・KTL・高田・テクノジ・電磁・吉川) 協力会社の安全衛生活動(弱点克服活動、TBM/KYフローシート浸透)の支援 所長－事業所代表者対話 労働・購買部－事業所代表者対話 労働・購買部－事業所代表者対話 所労災隠し防止講師教育 10/21、23、28(WEB) 職場労災かくし防止教育開催	朝会は毎日、 連絡会のはほば月1回 原則毎月第2木曜日 3～4社/月とし a社2カ月毎、b社1年毎 日程及びスケジュールは別途調整 日程及びスケジュールは別途調整 2年毎開催
		安全環境防災部安全健康室安全推進チームへの安全留学(3カ月間専任)												月1名年間12名予定	
		2. 安全体質強化支援(2025年～2027年) ・管理監督者クラスへの安全衛生教育『令和安全の鬼』→『フォローUP』 ・職長、工事責任者を対象としたKYT講師養成教育『KYレベルアップ』 ・八協会安全パトロール実施 「過去災の風化防止」6S状況 ・二次協ミニマムスタンダード安全教育の支援・フォロー ・職場衛生評価基準による自己衛生診断 ・危険体感教育、新規入構者教育支援(安全技能センター) ・各部会、製造部会での年間活動支援												安全の鬼教育(第15回)了 安全の鬼フォローUP(3月～5月:企画、6月～:活動) 過去災害風化防止対策、リスクアセスメント実施状況確認、6S活動状況確認(7～8月は安全衛生部会員による工事現場パトロール) ●2024年安全衛生教育実施状況概観 ● 実施状況フォロー(ヒアリング) ●職場衛生診断実施	2024年第15回にて終了後 フォローアップ活動推進 自職場全体のKYレベルアップ ゼロ災活動期間中は除く 夏季は安全部会員にて行動 全21社を3年で一巡
中長期的な活動		各部署会の活動計画と活動支援金の計画の確認												大協会連携(共通部会)	
	各製造部会での計画による活動推進状況の確認・支援														

2025年安全衛生環境防災委員会活動の詳細

I 2025年安全成績と最近の災害発生状況

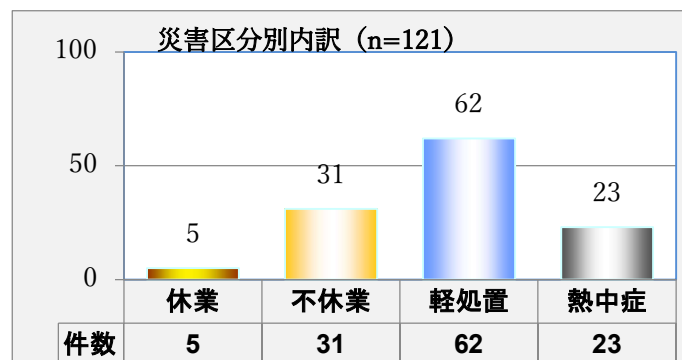
1. 安全成績

本年の労働災害は右グラフ(災害区分別内訳)が示す通り121件発生しました。

この数字は、2024年より50件減少しており、休業災害は5件、不休業災害が31件、軽処置災害が62件とそれぞれ減少しました。

災害の構成比率はここ数年変化はありません。

熱中症については異常と思える猛暑が続いた影響もあり、昨年同等23件の発生でした。

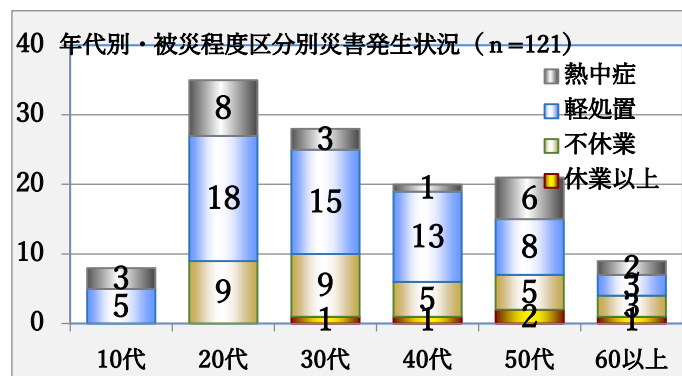


2. 年代区分別及び経験年数区分別の災害発生状況

◆年代別災害発生状況

右グラフから20代(35件)、30代(28件)、40代(20件)、合計83件(対総件数69%)の災害が発生しており、昨年とほぼ同比率です。

休業災害は、20代0件、30代1件、40代1件、50代2件、60代1件となっており、昨年より若干ですが1件減となりました。

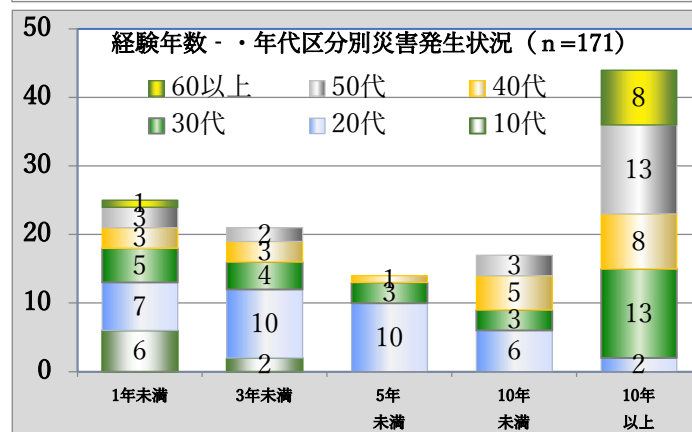


◆経験年数区分別の災害発生状況

右のグラフが示すように、経験年数1年未満が25件、3年未満21件で合計46件となっており、災害総件数(121件)の38%となり、昨年、一昨年とほぼ同じ割合です。

また、経験年数10年以上の方の発生件数も44件となっており、これも昨年と同様に他年代に比べ突出していることが分かります。

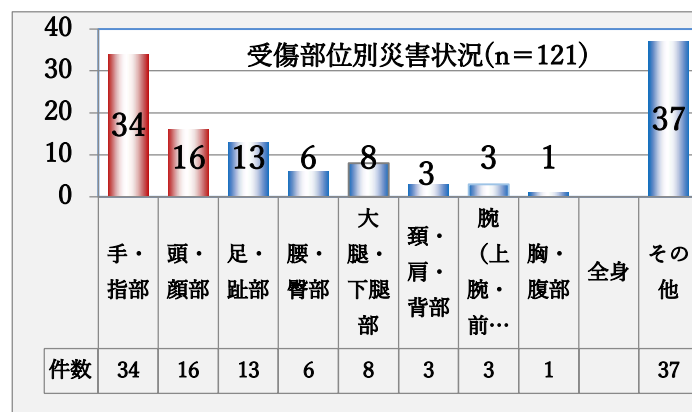
尚、その44件中30代と50代が26件(59%)と、約半数以上を占めており、これについても昨年とほぼ同様の傾向です。



3. 受傷部位別の災害発生状況

右のグラフは、2025年に発生した災害を受傷部位別に整理したものです。圧倒的に手・指部が多く全体の28%を占めており、つい手を出してしまったり、躓き転倒及びバランスを崩して手をつく等も含まれます。

その他に目立ったのは急性腰痛症でした。毎回ですが持病と業務起因の判断が難しいケースも多く見られ、労基署の判断に委ねることも少なくありません。



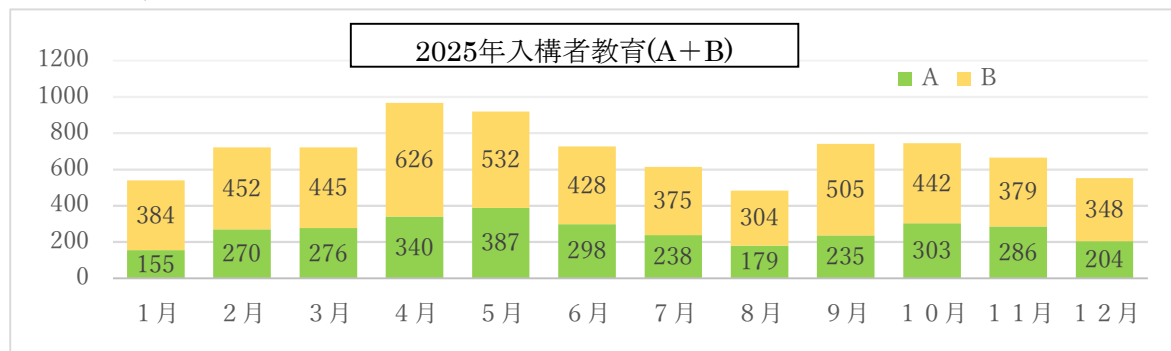
◆災害分析の詳細は「第1号議案補足資料 2-2-1」を参照ください

II 主な安全活動の実績

1. 日本製鉄全社統一入構者安全衛生教育

2015 年 4 月 1 日よりスタートした全社統一入構教育は、2025 年 7 月 1 日より受講時間短縮の為、カリキュラムを刷新しました。特に簡易危険体感教育の DVD 化によって、受講会場を安全衛生教育センターへ回帰し、八協会としては講師陣の体制を整えました。

2025 年は 8,545 名(対前年比+55 名)の入構者教育を実施しました。



2. 二次請以降協力会社(二次協)への安全教育支援

“各社が行う 2 次協ミニマムスタンダード安全教育の継続フォロー”

2012 年 7 月より実施している元請会社による 2 次以降の協力会社へのミニマムスタンダード教育については、本年も実施報告の提出を受け、それを基に九州製鉄所と全 7 社との対話も実施されました。今後も活動を継続していきます。

3. 危険体感教育

九州製鉄所八幡地区安全技能センターでは、類災防止の観点と複数回受講者への教育効果の維持を狙って、2016 年には、体感コーナーにフルハーネス、3D セーフマスター、回転体引込まれ、手挟まれ(実施 40 分)の設置、2019 年からは、バーチャルリアル体感教育も導入した教育となりました。

2025 年 1 月から 12 月までの受講者数は、1,556 人(元請:1,313 人、2 次協:243 人)と、前年に比べ 637 人になりました。

III 衛生活動の実績

1. 熱中症予防 講習会の開催

2025 年も多くの方が参加できる WEB 開催を今年も実施しました。講師は前年に続き産業医の方に依頼しました。参加者数は 300 アクセスとなりました。

2. 職場衛生評価基準に基づいた職場衛生自己診断

毎年、全国労働衛生週間準備期間中に会員事業所に対し「職場衛生評価基準チェックリスト」を活用した職場衛生自己診断と改善をお願いしており、今年は 63 事業所 209 職場から診断結果報告書及び改善計画の提出がありました。

3. 皿倉健康登山実施(2026 年 4 月 18 日)

今回も世話役(安全衛生部会員)方々のご協力によりスムーズに進行することができました。また、八幡東区役所、皿倉ビジターセンターの方々のご理解・ご協力も成功の大きな要因となっており、今後も地域と一体となった行事として定着させていきたいと考えています。

申込参加事業所:37+九州製鉄所関係者 参加申込:約 1,637 名(昨年比+400 人)

◆詳細は、第1号議案補足資料2-3を参照下さい。

IV 教育・研修実績

安全活動計画に則り各種教育・研修を企画推進しました。

- ・入構者安全衛生教育(安全衛生教育センター) 8,545 名
- ・職長教育等法定教育(安全衛生教育センター、安全技能センター) 540 名
- ・危険体感教育(安全技能センター) 1,556 名
- ・危険予知レベルアップ教育(安全衛生教育センター) 154 名／7回
- ・熱中症予防講習(WEB) 300 アクセス／回
- ・安全の鬼フォローアップ研修(安全技能センター) 61 名／5 回

◆詳細は、第1号議案補足資料2-4を参照下さい

V 防災活動及び環境管理活動の実績

1. 防災管理(総括)

(1)火気監視人講師能力向上教育(新任講師候補者含む)(2026年2月24日、25日)

九州製鉄所は今年も火気監視人講師能力向上教育実施し、新任講師を含め、58 の事業所から 330 名が講師の承認を得ました。

(2)現場指揮者(金ヘル)研修(2025年5月9日、6月26日、9月12日、11月10日)

九州製鉄所は今年も防災指揮者の研修を実施し、29の事業所から69名が受講しました。研修終了後に自職場の防災リスクを具体的に把握して貰うことを目的として、現場実態に則したリスク想定とその対応、さらにそれを元にした実動訓練までを実施しました。

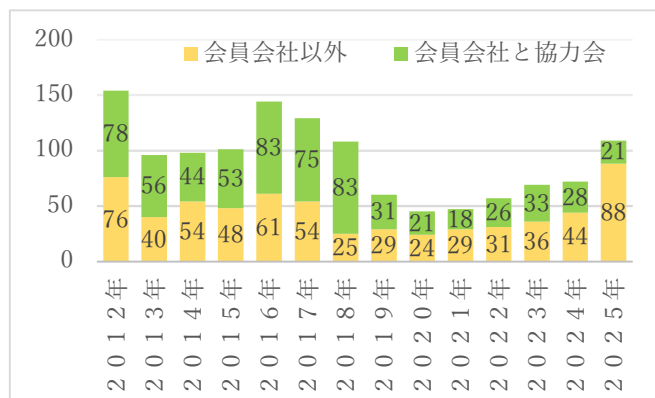
2. 環境管理(総括)

昨年、一昨年に引き続き、2025年も重大な環境事故には至っておりませんが、構内運行車両からの道路への油漏れ発生事故は稀に発生しています。

VI 構内交通安全

右のグラフは構内交通違反、事故の発生件数履歴です。前年より+37 件の増加でしたが、二次協以降の会社での事故違反が倍増しています。中でも一旦停止違反が多く、事故は前後確認不足(特に後方)による追突物損で済んでいるのが幸いです。

全件大事に至っていませんが、「一歩間違えば」という事案も多く見られ、殆どが一呼吸おけば防げた事故でした。



VII 直・協連携活動

1. 総合無災害時間達成

2025年「年間総合休業度数率達成」社長表彰

2月26日鉄鋼会館において表彰授与式へ船方会長参列

2. 労災かくし防止教育インストラクタ研修実施（10月21日、23日、28日）

九州製鉄所安全健康室にて労災かくし防止教育インストラクタ研修（2年毎）がWEB開催され、3日間合計980名が参加しました。インストラクタは各事業所現場第一線作業者を対象に教育を実施し教育記録を保管します。

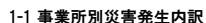
VIII 労働行政と連携した活動

1. 安全衛生研修会の開催（2025年12月17日 北九州西労働基準監督署）

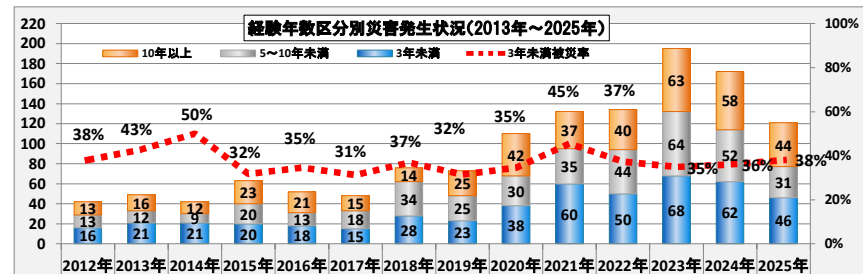
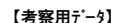
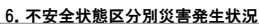
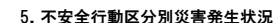
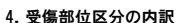
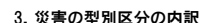
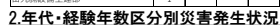
北九州西労働基準監督署にお願いし、会員事業所の安全衛生活動に対して、行政からの視点と考え方を深める目的で安全衛生研修会を開催致しました。参加対象は総合会員（17社）と一般会員（152社）で、その中から54社、105名が参加しました。研修に先立ち坂本安全衛生委員長より、本研修の意義についてお話があり、引き続き北九州西労働基準監督署・安全衛生課長、松隈様による「労働災害防止と最近の法改正等について」のご講義を頂きました。



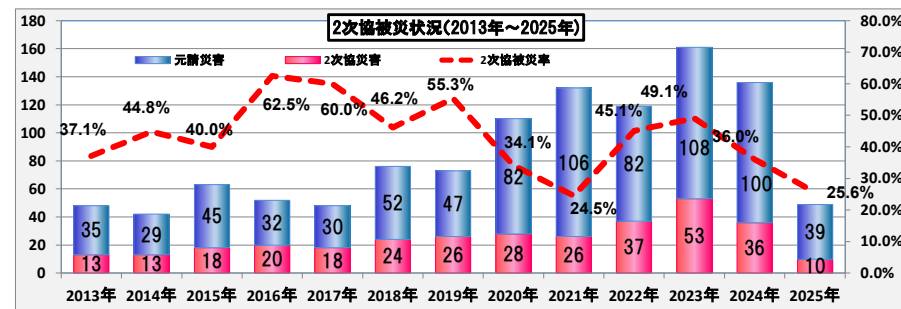
1. 災害発生状況

[illegible]

1-2.月別災害発生件数推移



**2017年10月から3年目未満の
「オレンジヘルメット安全衛生教育」開始**



2016年12月で「2次協+α
作業指揮者レベルアップ教育」終了

2025年 安全衛生部会の主要活動実績

活動項目	内 容
八協会理事・総合会員代表 安全パトロール	・対象事業所： 14事業所+2定年修工事+2事業所重点パトロール ・メンバー： 理事・総合会員代表、安全衛生部会員、事務局長・安全衛生部長
九州製鉄所安全防災最優先 パトロール	・回数： 12回(年末年始及び夏季ゼロ災活動含む)×3班(延べ36人) ・対象職場： 九州製鉄所八幡地区工場・室・グループ及び協力会社作業場 ・メンバー： 所二役、部長 安全防災室、産業医 八幡労組幹部 八協会理事 八幡関連労組幹部
安全祈願祭	・夏季ゼロ災安全祈願祭： 7月1日(火)18時00分～18時30分 ・年末ゼロ災安全祈願祭： 12月1日(月)18時00分～18時30分
健康皿倉登山大会	・4月18日 参加応募 1637名(昨年比+400名) 生憎、当日朝方の悪天候(小雨、濃霧)にも関わらず、1000名超の方々に参加して頂いた。
熱中症予防講習会の実施	・5月27日 WEB開催 参加:300アクセス
安全衛生研修会	・12月17日 場所:マルチホール 参加:54社105名 講師： 北九州西労働基準監督署安全衛生課・松隈課長様 テーマ： 労働災害防止と最近の法改正等について

2025年 安全衛生教育実績

活動項目	内 容														
入構者安全衛生教育	区分	2025年		2024年		2023年		2022年		2021年		2020年		2019年	
	集合	8,391 名		8,336 名		8,689 名		7,570 名		9,428 名		9,391 名		10,371 名	
	委任	154 名		111 名		102 名		56 名		95 名		97 名		140 名	
	計	8,545 名		8,447 名		8,791 名		7,626 名		9,523 名		9,488 名		10,511 名	
危険体感教育		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計	
	元請社員	109	101	88	117	119	113	111	109	114	117	115	100	1,313 名	
	二次社員	29	26	29	22	21	21	23	10	14	29	12	7	243 名	
	計	138	127	117	139	140	134	134	119	128	146	127	107	1,556 名	
法定職長教育・特別教育・安全体質強化活動	講 座 名		開催会場		開催回数		受講実績								
	職長教育		安全技能センター		6回		86名								
	安全衛生責任者教育		安全教育センター		1回		18名								
	特別教育	酸素欠乏症		安全技能センター		3回		43名							
		粉じん作業		安全教育センター		3回		55名							
		低圧電気取扱い		安全技能センター		3回		71名							
		研削砥石		安全教育センター		2回		40名							
		アーク溶接		安全技能センター		1回		10名							
		振動工具		安全教育センター		3回		63名							
														特別教育受講者数=386名	
質安 活動 強化 体	KYレベルアップ教育		安全教育センター		7回		154名								
総計:540名															
職場衛生自己診断	職場衛生管理レベルの向上を図るため、「改訂職場衛生評価基準」による自己診断を実施。 ・実施月:2025年9月(全国労働衛生準備期間中に実施) ・実施事業所:63事業所 209職場														

九州製鉄所八幡地区主催									
火気監視人能力向上教育	<table><tr><th>開催日</th><th>開催会場</th><th>時間帯</th><th>備考欄</th></tr><tr><td>2025年2月26日 2025年2月27日</td><td>総合センター WEB</td><td>13時00分～15時00分</td><td>総合会員および 一般会員事業所(330名)</td></tr></table>	開催日	開催会場	時間帯	備考欄	2025年2月26日 2025年2月27日	総合センター WEB	13時00分～15時00分	総合会員および 一般会員事業所(330名)
開催日	開催会場	時間帯	備考欄						
2025年2月26日 2025年2月27日	総合センター WEB	13時00分～15時00分	総合会員および 一般会員事業所(330名)						
現場指揮者(金ヘル)教育	<table><tr><th>開催日</th><th>開催会場</th><th>時間帯</th><th>備考欄</th></tr><tr><td>2025年5月9日 2025年6月26日 2025年9月12日 2025年11月10日</td><td>安全技能センター</td><td>8時30分～16時30分 ・法規制座学 ・消火器・消火栓取扱演練 ・グループ討議</td><td>総合会員および 一般会員事業所(69名)</td></tr></table>	開催日	開催会場	時間帯	備考欄	2025年5月9日 2025年6月26日 2025年9月12日 2025年11月10日	安全技能センター	8時30分～16時30分 ・法規制座学 ・消火器・消火栓取扱演練 ・グループ討議	総合会員および 一般会員事業所(69名)
開催日	開催会場	時間帯	備考欄						
2025年5月9日 2025年6月26日 2025年9月12日 2025年11月10日	安全技能センター	8時30分～16時30分 ・法規制座学 ・消火器・消火栓取扱演練 ・グループ討議	総合会員および 一般会員事業所(69名)						

労災かくし防止教育	<table><tr><th>開催日</th><th>開催会場</th><th>時間帯</th><th>備考欄</th></tr><tr><td>2025年10月21日 2025年10月23日 2025年10月28日</td><td>WEB</td><td>13時30分～14時00分</td><td>会員事業所 (82事業所、980名)</td></tr></table>	開催日	開催会場	時間帯	備考欄	2025年10月21日 2025年10月23日 2025年10月28日	WEB	13時30分～14時00分	会員事業所 (82事業所、980名)
開催日	開催会場	時間帯	備考欄						
2025年10月21日 2025年10月23日 2025年10月28日	WEB	13時30分～14時00分	会員事業所 (82事業所、980名)						

無災害事業所の表彰	・無災害表彰事業所：56事業所 ・安全衛生委員会冒頭に、会長より表彰状及び表彰金授与。
-----------	--

災害情報の共有化	・狙い:会員事業所災害について、部会員が被災背景等を共有化し各部会に水平展開を図る。 ・2025年労働災害全件(121件)を部会で報告(ヒヤリハット除き)。
----------	---

以上

第 2 号議案（事業計画） 補足資料目次

【経営委員会】

補足資料 1 - 1 : 2026 年度経営委員会 活動計画表	35
補足資料 1 - 2 : 2026 年度改善活動部会 活動方針	36
補足資料 1 - 3 : 2026 年度人材育成部会 活動方針	37

【安全衛生委員会】

補足資料 2 - 1 : 2026 年安全衛生委員会 活動計画表	38
補足資料 2 - 2 : 2026 年安全衛生教育 実施計画	39

【製造部会・関連部会】

補足資料 3 : 2025 年度活動実績及び 2026 年度活動方針	40
--	----

2026年度 経営委員会 / 年間活動計画表

2026/3/9
九州製鉄所八幡地区協定会

1.共通	項目		場所	目的	頻度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027.1	2	3
	(1)血倉健康登山			八協会会員の懇親・親睦	1回/年		○4/18											
	(2)合同採用説明会		小倉AIM	八協会各会社のPR活動、人材確保	1回/年			○5/22										
	(3)QJK大会	九州製鉄所	マルチホール	九州製鉄所JK大会参画と連携	3回/年				○6/18大分			○9/3			○12/4大分			
		八協会	マルチホール	八協会全体のJ K活動レベルアップとサークル員の達成感向上	2回/年					○7/24					○12/11(100回記念大会)			
		大協会	大協会SPセンター	他地区J K大会参加による技能向上と交流懇親を図る	1回/年			○5/15(100回記念大会)										
	(4)テーマ別研修	①健康（中西産業医）	Teams	65才までの能力最大発揮を目指した心身の健康づくり	1回/年	○3/24												
		②熱中症予防	Teams		1回/年			○5/27										
		③環境（中村主査）	Teams	環境リスク事業の認識と不祥事防止	1回/年				○6/22									
		④防災（外部講師）	マルチホール・Teams	事業所における自主防火・防災管理の重要性	1回/年					○7/29								
		⑤業務（沢田主幹）	Teams	取引業務に関する法令理解と遵守	1回/年							○9/2						
		⑥安全研修会（労基署）	マルチホール		1回/年										○12/			
	(5)八協会だより		機関紙発行	改善活動部会、人材育成部会活動内容情報発信	2回/年						○					○		
	(6)技の鉄人認定・表彰		各社	固有技術の表彰と技能伝承・人材育成	1回/年													

	項目	研修名	場所	目的	頻度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027.1	2	3
2.改善活動部会	(1)定例会議	-	安全衛生教育C	研修振り返りと活動予定確認	1回/月		○4/14	○5/19	○6/16	○7/14	○8/18	○9/14	○10/13	○11/17	○12/15	○1/19	○2/16	○3/16
	(2)階層別研修	①手法	ウェル戸畑	弱経験者を対象に、QCサークル活動の基本と問題解決型QCストーリーについて学ぶ	5回/年		○4/10	○5/22		○7/17	○8/21						○2/19	
		②基本と実践	人材育成C	職場のサークルリーダーを育てることを目的として、現状把握～標準化までの一連の手法を学ぶ	3回/年									○11/17-18		○1/14-15	○2/25-26	
		③トレーナー	人材育成C	自主管理活動の基本と実践研修実習を通じて、トレーナーを養成する	5回/年							○9/15-16	○10/29-30	○11/17-18		○1/14-15	○2/25-26	
		④支援者	ウェル戸畑	サークル活動の支援、指導できる人材の育成	1回/年							○9/18						
		⑤未然防止型	ウェル戸畑	職場における重要問題を発生させない、再発させないための手法を学ぶ	1回/年						○8/7							

	項目	研修名	場所	目的	頻度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027.1	2	3
3.人材育成部会	(1)定例会議	-	安全衛生教育C	研修振り返りと活動予定確認	1回/月		○4/8	○5/13	○6/10	○7/8	○8/5	○9/9	○10/7	○11/11	○12/9	○1/13	○2/10	○3/10
	(2)協力会社連携室定例	-	総合C N12会議室	研修振り返りと活動予定確認	1回/月		○4/15	○5/20	○6/17	○7/15	○8/19	○9/16	○10/14	○11/18	○12/16	○1/20	○2/17	○3/17
	(3)階層別研修	①新人社員	人材育成C	【基本・基礎確率】鉄づくりの基礎知識・マインドの醸成・仕事の基本習得	2回/年											○1/19	○2/24	
		②若手	人材育成C	【一人前の自覚】中核者としての知識習得・視野の拡大と交流	2回/年						○8/18-19		○10/13-14					
		③中堅	人材育成C	【職場リーダーへの育成】管理監督候補者としての意識醸成や視野の拡大と交流	2回/年								○10/19-20		○12/8-9			
		④職長・作業長	人材育成C	【管理能力向上】指示・管理に必要な知識習得、共通課題共有化	1回/年			○5/25-26										
		⑤管理者	人材育成C	【リーダーシップ】管理知識、マインドの醸成、共通課題共有化	1回/年				○6/15-16									

2026年度改善活動部会活動方針

1. 基本方針

九州製鉄所 八幡地区 QJK 活動 2026 年度スローガン「高めよう団結力！ 発揮しよう総合力！
新たな挑戦 QJK」および基本方針 ①対話とプロセスを大切に、一人ひとりの力を結集しよう！
②明るく楽しく、前向きに！目標に向かって一歩いっば前進しよう！ のもと、研修参加者の声に
耳を傾け、部会員の工夫・努力を通じ「自ら学び行動する人材」を育成するとともに、QJK 活動の
活性化の為の支援を推進して参ります。

2. 重点実施事項

研修関連活動（研修の開催及び研修内容の見直し）を通して、部会主催の研修の充実を図ります。
さらに大協会との JK 活動発表大会および研修へ人員を相互派遣し連携の強化を進めます。
そして、九州製鉄所 QJK 活動に対して引き続き協力会社としての協力を進めます。

1) 部会活動の活性化

- ① 研修メニューの充実
 - ・研修生の技能レベルに応じた、階層別研修内容の検討
 - ・アウトソーシングも含めたレベルアップ
- ② 大協会との連携強化
 - ・できるところから良い活動事例の横展開
- ③ 第 100 回大会の成功

2) スリーピングサークル「ゼロ」の継続

- ・18 年連続達成への挑戦

3) 九州製鉄所 QJK 活動への協力

- ・九州製鉄所 QJK 大会の運営支援及びサークル派遣
- ・八協会 QJK 発表大会への関係者招待

3. 活動計画

2026 年度は年間通して、計画的に階層別研修を開催します。

実 施 事 項	開催回数	対 象 者	人 員
部会定例会議	12 回	部会員	—
手法研修	5 回	初心者	20 名/回
基本と実践研修	3 回	リーダー・活動者	15 名/回
トレーナー研修 (I・II・III)	3 回	支援指導者	13 名/回
支援者研修	1 回	管理者・スタッフ	12 名/回
八協会 QJK 発表大会	2 回	会員企業	100 名
年間特別賞	1 回/年	1 サークル/社	16 サークル (最大)
所 QJK 活動との連携 QJK 発表大会派遣 常任世話人会 サークル連合会	2 回/年 通年 通年	各社所属者 部会員 会員会社	主催者招待者 4 名 9 名

以上

2026年度人材育成部会活動方針

1. 基本方針

人材育成部会の活動も今年で18年目を迎えます。今年度は年間通して計画的に研修を実施します。また、研修生、部会員のアンケートによる研修内容の精査を行い、研修カリキュラムのレベルアップを図り、受講者の皆様の為になる研修を目指してまいります。

ご理解の上さらなるご支援、ご協力をお願い致します。

2. 重点実施項目

人材育成部会の主な活動は、例年同様「階層別研修」及び「テーマ別研修」とします。

(1) 階層別研修

新入社員、若手社員、中堅社員、職長・作業長、管理者の5階層に対する研修を実施します。各部会担当部会員のレベルアップも図りながら、受講生の為になる研修になるよう努めてまいります。

(2) テーマ別研修

安全研修、環境管理、健康管理、熱中症予防、防災管理、取引業務厳正化の6つの研修を計画します。より多くの方々へ受講して頂く様 WEB(Teams) で開催する予定です。

(3) 各種行事の開催

九州製鉄所と連携して、パートナー会社合同採用説明会、技の鉄人認定を支援してまいります。

3. 活動計画

(1) 研修実施要領

研修講座名称	対象者	開催頻度	研修期間	実施予定月	人員(計画)
新入社員研修	入社1～2年	2回／年	1日	2027年 1月・2月	140名
若手社員研修	5年前後	2回／年	2日	8月・10月	60名
中堅社員研修	10年前後	2回／年	2日	10月・12月	60名
職長・作業長研修	当該職位	1回／年	2日	5月	20名
管理者研修	管理者	1回／年	2日	6月	20名
テーマ別研修	テーマに応じて	5回／年	1時間	3～12月	100名程度

(2) 階層別研修講座の共通カリキュラム

共通科目	主な内容
コンプライアンス	安全・防災、環境、取引業務厳正化
マインド	直・協、協・協の信頼関係の構築
製鉄所より講話、講演	日本製鉄九州製鉄所の方針、協力会社への期待
工場見学	自職場及び自分の立ち位置の再認識と自覚の情勢
グループ討議	仲間意識醸成、共通の問題解決へのアプローチの確認

以上

Ⅰ 安衛・経営委員会共通事項

活 動 内 容		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備 考
共通事項	催事	● 1/5										○ 11/15慰霊祭 一般献花		
	・賀詞交換会													
	・殉職者慰霊祭													
	・九協会定例会議(大協会との連携強化)								○(八幡地区開催)					*1回/年開催
	・通常総会							○ 7/10						
	・理事会(1月、4月、7月、10月の原則第一水曜日)、臨時理事会(3月、6月、12月)	● 1/15		● 3/11	● 4/8		● 6/10	○ 7/8			○ 10/7		○ 12/9	合同委員会と合同開催有り
会議等	・企画運営委員会	● 1/8	● 2/4	● 3/5	● 4/3	● 5/8	● 6/5	○ 7/3	○ 8/5	○ 9/4	○ 10/5	○ 11/6	○ 12/4	
	・安全衛生委員会・経営委員会 合同開催(原則毎月第二水曜日)	● 1/15	● 2/10	● 3/11	● 4/8	● 5/13	● 6/10	○ 7/8	○ 8/7	○ 9/9	○ 10/7	○ 11/11	○ 12/9	
	・九州製鉄所長－八協会安全連絡会(原則毎月第一水曜日)	● 1/20	● 2/6	● 3/6 ● 3/31		●	●	○	○	○	○	○	○	
	・安全衛生部会	● 1/13	● 2/9	● 3/9	● 4/6	● 5/11	● 6/8	○ 7/6	○ 8/6	○ 9/7	○ 10/5	○ 11/9	○ 12/7	

Ⅱ 安全衛生委員会活動

活 動 内 容		推進スケジュール												備 考
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
活 動 事 項	催事	● 1/6所 安全祈願祭 8°			● 4/18 皿倉山健康登山		● 6/1八協会18°	○ 7/1所8°					○ 12/1八協会、18°	
	・健康皿倉登山、健康野外行事													
	・夏季ゼロ災活動、年末年始ゼロ災活動	年末年始ゼロ災活動 ● 弱点克服活動 ○ ← 夏季ゼロ災活動 → ○												○ 年末年始ゼロ災活動
	教育・講習会	・入構者安全衛生教育(安全技能センター)												要領見直し
	・危険体感教育(安全技能センター)		3年毎受講 ただし、新規入構から3年間は毎年受講											新人除き、1回/3年へ変更
	・特別教育【粉じん、研削砥石、アーク溶接、低圧電気、酸欠(二種)、振動工具】			● 酸欠 ● 低圧 ● 研削 ● 振動 ● 粉じん		● 振動	● 酸欠 ● 低圧	○ 粉じん ○ アーク ○ 研削 ○ 振動	○ 粉じん	○ 酸欠 ○ 低圧				酸欠に硫化水素を追加
2026年主要活動	・職長教育 ・安全衛生責任者教育		● 職長		● 職長		● 安責	○ 職長	○ 職長		○ 職長		○ 職長	職長教育 *安責教育
	・行政と連携した安全研修【北九州西労働基準監督署安全衛生課】													
	・熱中症予防講習会他											○ 安全衛生研修会		
	1. 九州製鉄所八幡地区と連携した安全衛生活動					● 5中旬 熱中症予防講習会～講師：八幡地区産業医(WEBにて開催)								熱中症予防教育
	(1)安全基礎強化の取り組み					九州製鉄所安全朝会出席(WEB)、 所長－八協会安全環境防災連絡会								朝会は毎日、 連絡会はいまほ月1回
	① 安全教育の実効性向上(入構・フォロー、危険感性向上、労災かき止防止、安全専任者等)					九州製鉄所八幡地区安全防災最優先浸透・パトロール参加(1回/月、3班)								原則毎月第2水曜日
中長期的な活動	② 安全衛生活動の仕組みの評価と改善(弱点克服活動、TBM・KYフローシート浸透、パトロール方法)													3～4社/月とし a社2ヵ月毎、b社1年毎
	③ 安全設備対策の維持・充実化(高リスク作業改善、安全見守りカメラの利活用支援、連絡手段の高度化)					副所長－事業所代表者合同パトロール (a社:日物・テックス・環境・濱田・山九、 b社:As入江・九築・KTL・高田・テクノジ・電磁・吉川)								
	(2)安全3本柱の浸透と定着					協力会社の安全衛生活動(弱点克服活動、TBM/KYフローシート浸透)の支援								日程及びスケジュールは別途調整
	【基本行動の徹底による人づくり】													日程及びスケジュールは別途調整
	① 安全ルール(継続的な浸透による職場規律の強化(安全6則、職場固有のルール、作業手順の遵守)													
	② 弱点克服活動(ボトムアップ活動)を通じた自主自律行動の定着													
中長期的な活動	③ TBM・KY教育や訓練内容のレベルアップによる危険感性強化(立ち止まり危険を予知できる人づくり)													
	【風化防止による安全安心なものづくり】													
	① 工事・作業発注時の「整備重点管理標準」の運用と条件設定確認による施工前の安全管理徹底													
	② 安全6則等に抵触する作業の継続的抽出と特例許可作業への反映(現状の再評価・見直し・改善含む)													
	③ 頻発・繰り返し災害教育の強化(繰り返される過去災害を抽出し、自職場に置き換えて伝承)													
	【風通しによる職場づくり】													
中長期的な活動	① 小集団対話による風通し良い職場風土の醸成(相互注意ができる職場づくり)													
	② 直営・協力会社間での本音対話による相互理解の促進と、自律的安全衛生活動の支援													
	③ 新規設備・既設設備・実作業のリスクアセスメント能力向上と作業改善(やりこい・作業の抽出・共有・改善)													
	(3)快適な作業・職場環境に向けた継続的・計画的な改善													
	① 法令改正に伴う化学物質の自主型管理への移行対応													
	② 粉じん・騒音・暑熱環境等の計画的改善、熱中症未然防止に向けた相互確認													
中長期的な活動	※安全健康室 安全推進チーム－安全留学(3ヵ月/人)													月1名年間12名予定
	2. 安全体質強化支援(2025年～2027年)													
	・管理監督者クラスへの安全衛生教育『令和安全の鬼フォローUP』													令和安全の鬼教育は2025年3月第15回にて終了
	・職長、工事責任者を対象としたKYT講師養成教育『KYレベルアップ』	●	●		●	●		○		○		○		自職場全体のKYレベルアップ
	・八協会安全パトロール実施「過去災の風化防止」6S状況													ゼロ災活動期間中は除く 夏季は安全部会員にて行動
	・二次協ミニマムスタンダード安全教育の支援・フォロー	● 2025年安全衛生教育実施状況纏め					○	→	○ 実施状況フォロー(ヒアリング)					全21社を3年で一巡

2026年 安全衛生教育実施計画

目的 区分	研修(活動)項目		前年対比		内容・対象等	月別教育スケジュール												備 考
			2025	2026		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
受 託	入構者安全衛生教育		○	○		← 毎週月曜～金曜 →												
法定教育	職長教育		○	○	2日間		●		●			○	○		○		○	八協会総合会員会社所属講師
	安全衛生責任者教育		○	○	2時間						●							八協会総合会員会社所属講師
	特 別 教 育	アーク溶接	○	○	2日間								○					八協会総合会員会社所属講師
		低圧電気取扱	○	○	1日			●				○					○	八協会総合会員会社所属講師
		研削砥石	○	○	0.5日			●						○				八協会総合会員会社所属講師
		振動工具	○	○	0.5日			●		●				○				八協会総合会員会社所属講師
		粉じん作業	○	○	0.5日				●			○			○			八協会総合会員会社所属講師
	酸素欠乏・硫化水素危険作業		○	○	0.8日			●			●					○		八協会総合会員会社所属講師
安全体質強化活動	KYレベルアップ教育		○	○	0.5日	●	●		●	●		○		○		○		2024年3月より再開
その他講習会	熱中症予防講習会(WEB開催)		○	○	1時間					●								九州製鉄所産業医に依頼
	危険体感教育		○	○	3時間	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	H27/4/1より全社統一簡易危険体感教育実施中

部会名:【総務・労働購買部会】

2025年度活動総括	2025 年度は、所／安全衛生活動方針「休業災害度数率 0.10 以下」の実現の為、定期的な部会の開催で、所と八協会の情報共有化を図りつつ、下記活動を積極推進した。 1. 安全衛生基盤強化活動の推進 (1) 基本行動の徹底による安全に強い人づくり ① 全社共通遵守事項 6 項目の徹底実践 ② 陸上貨物運搬・自動車運送時の交通事故・交通ルール違反ゼロ化の呼掛け・実践 (2) 風化防止による安全安心なものづくり ① 過去災害/風化防止演練の実施 ② 八幡 30No'sを活用した類災防止検討の推進 (3) 健康増進のためにメンタルヘルス活動の推進と健康診断受診呼掛け ① インフルエンザ等の感染症防止(手洗い、うがい等励行の呼掛け) ② 定期健康診断の早期受診啓蒙と検診結果の有効活用 2. 人材育成 ＊ 八協会主催の階層別研修、皿倉健康登山や QJK 大会への積極参加 3. 部会各協力会社間の連携 ＊ 風通しの良い部会開催による安全衛生活動、構内交通規制情報等の遅延ない共有化
2026年度活動方針・重点実施事項	2026 年度も、所／安全衛生活動方針「休業災害度数率 0.10 以下」の実現と共に、「人を育て生かす」活動として、下記事項に重点的に取り組む。 1. 安全最優先の職場風土づくり ＊ 「弱点克服活動」のフォローによる自律的安全行動力の醸成 2. 基本ルールと基本行動を遵守する安全に強い人づくり (1) 6 則遵守と安全の基本行動の周知徹底・実践 ① 全社共通遵守事項6則徹底遵守、継続的な安全リスクアセス活動 ② 構内での交通事故・交通ルール違反ゼロ化への継続的な取り組み (2) 繰り返し発生するトラブルの防止による安全安心なものづくり ① 過去災の風化防止としての災害メモリアル演練実施 ② 交通事故防止としての車両演練実施 (3) 風通しの良い職場作り ＊ 部会開催による安全衛生活動情報など タイムリーな情報共有化 3. 安全衛生・人財育成教育の強化推進 ① 新入社員・中途採用者へのより具体的な安全教育 ② 八協会主催研修への積極的な参加呼びかけと各社人財育成教育のレベルアップ 4. 心と心身の健康づくり ① ストレスチェック活用によるメンタルヘルスケア活動の推進 ② 健康診断受診呼掛けと検診後の個別健康管理フォロー

部会名:【品質管理部会】

2025年度活動総括	1. 安全衛生・環境防災：25年度完全無災害達成、第46期無災害目標達成(6/30；14,441日) 安全弱点の克服活動の展開及びルール遵守への徹底に向けた重点取り組みとして、対話を通じた「安全保護具完全着装活動の推進」・「安全の急所」の浸透定着を図っている。 ・安全の急所の設定 163件設定、「伝達Snap(QRコード30秒動画)」150件作成 ・保護具着装活動 全係 保護具における安全総対話実施 所長キャラバン7回実施 1) 安全作業標準書見直し（品質管理部門）：2025年 見直し745件、新規71件 2) 非可動処置ガイドライン周知活動の展開：109件洗い出しおよび確認パトロールの実施 製鉄所特例作業低減：109件→10件 3) 体格差視点によるリスク改善：2025年 11件、残0件 4) 2025年安全衛生活動優秀職場特別表彰受賞：戸畑試験分析課 薄板めっき試験係 5) リスクアセスメント活動（安全関連）：総数5271件、完了5229件、残35件 6) 令和安全の鬼フォローアップ教育1名 2. 品質 1) 品質リスクアセス活動：対象8職場における品質リスク抽出及びリスク低減化検討 196件について見直し完了（計画147件） 2) 資格取得推進：危険物取扱主任者6名、化学分析技能士3名、金属材料技能士4名等々 3. 生産及び設備工事：製鉄所生産への確実な対応 1) 室蘭対応：成分分析、出荷判定試験等増加も納期遅れなく対応 2) 設備投資案件 計画どおり完工（保全案件：4件、品質対策：2件、生産対策他：2件）
2026年度活動方針・重点実施事項	【運営スローガン】 『協調・調和、法令遵守が全ての基軸 ～一致団結・公平・本質追及・迅速～』 【2026年度活動方針】 1. 安全：「安全と健康は全てに優先する」と「人を育て活かす」 2. 品質：「お客様満足」と「社会からの信頼」 3. 環境：「社会との共生」という理念の下、「環境保全型社会の構築」及び 「地球規模での環境保全」に貢献する 【重点実施事項】 1) 『ルール完全遵守の徹底』：ダメなものはダメ！規律を保ち自律的に守る 「①保護具の完全着装、②安全の急所での手順遵守、③ハラスメントの撲滅、④不適切な勤務管理の根絶、⑤品質5則の遵守、⑥継続的なリスク低減の推進」 2) 『強靱な事業基盤の構築』：鉄の競争力強化への貢献拡大、外販事業の強化 「①生産性の向上(機械化／自動化／システム化の推進、業務の集約、多能工化の拡大、業務効率化の推進)、②外販事業の強化(顧客ニーズを先取りした高付加価値化、投入リソース（人・設備）の見直し)」 3) 『働きやすく健康な職場』：継続的職場改善と成長を実感できる健康な職場 「①働きやすい職場づくり(職場改善の継続推進、D&I取組みの深化)、②やりがいを実感し全員が心身ともに健康な職場づくり(成長を実感し自己実現できる仕組みづくり、健康づくりの取組み強化)」

部会名:【工程業務部会】

2025年度活動総括	1.安全活動推進 当部会では25年度直協一体となった安全管理の推進のテーマとして以下を共有し活動 基本行動遵守：咄嗟の行動はせず、まず「止める」。必ず一呼吸あける癖をつける 風化防止：繰り返し事案の撲滅。転倒災害、クレーンの事故、交通事故 組織力の向上：コミュニケーションの基本は対話。何でも話しやすい雰囲気づくり しかしながら3月に休業災害を発生させ、職場に存在するリスク抽出について課題を認識、改善に向け、新年度の最優先事項として対策を実行する 2.生産・品質 戸畑・小倉間の鋳鋼片輸送が新規海上輸送ルート及び荷役方法へと変化した、ヤード受入れから搬入においてトラブル無く、安定的な立ち上げに貢献できた 年度後半には、他所緊急応援施策により物流量の急激な変化が生じたが、直協の情報共有や八幡・戸畑・小倉、3エリア間の連携により、物流を停滞させることなく対応でき、3エリアに跨る組織の総合力強化の機会となった 3.人材育成・技能伝承 直協管理者層同士の面着対話の強化をはかり、レベルアップの活動を推進した
2026年度活動方針・重点実施事項	1.安全活動 (1) 基本行動の遵守：異常を感じたら「まず止める」「助けを呼ぶ」「安全が確保できるまで待つ」 (2) 風化防止：過去の重篤な災害、事故を繰り返さない。手足元災害を発生させない (3) 組織力向上：個々の力量に頼らず組織として機能させる。一致団結！ (4) リスク抽出結果と対策進捗状況を現場と共有し、納得感のある安全活動を推進する 上記方針のもと、無災害職場の再構築を図る 2.品質 品質基本行動5則の徹底による、異材・誤出荷の防止 3.操業 無理・無駄を排除し安全・安心・安定した物流の構築 4.変化への対応 「変化」を捉え、「あいだ」を意識し、新たな工程業務の構築にチャレンジしよう！ をスローガンに電炉化に向け変化する物流に対して、八幡3エリアの物流最適化を推進する。また、昨年立ち上げの新規鋳鋼片輸送の安全・安定輸送と更なる効率化のための施策に挑戦する 5.人材育成 直協間の連携強化により、教育・対話・演練などの活動推進によりプロフェッショナルとしての自覚を持った人材育成を行う

部会名:【製銑部会】

2025年度活動総括	2025年度は、主管の指導のもと、直協連携並びに情報共有を図り災害防止に努めた結果、休業災害は0件であった。しかしながら不休1件、HH5件、熱中症3件が発生し、特に手元足元の災害が依然として多く、指差呼称による確認や落ち着いて丁寧な行動をしていれば防げた災害が多かった。主管とのパトロールを通じて、現場実態を把握し設備の不具合などリスクを抽出して、改善を進めることで休業災害0件の達成を図れたと感じる。 1. 安全・衛生・環境・防災・コンプライアンスへの取り組み (1) 重大リスク低減と防災対策の推進（徹底した6S活動）による安全・環境・防災に強い職場づくり ・ヒヤリハット活動推進によるリスク発掘と対策実行による重大リスクの早期低減 (2) 基本行動の徹底による人づくり ・ルールの徹底遵守 TBM・KY による具体的な安全対策立案と実行 (3) 大分地区との安全交流（パトロールと安全検討会等）の実施による相互の安全感性の向上 2. 主管重点課題（2025 中期計画実行と次中期へ向けた施策の検討）への取り組み強化 (1) 設備安定稼働をベースとした安定操業の実現 (2) 競争力抜本改善に向けた施策の企画・立案 ・八幡地区のプロセス転換に関する事項への迅速かつ適切な対応の実行と推進 3. 技能伝承・人材育成 (1) 八協会主催の各種研修の積極的な活用による人材育成 （スケジュールに沿った各社の積極的参加） (2) 改善・Q J K活動の量と質の向上 （主管発表会への積極的参加） (3) 製銑部会研修会の積極的参加及び大分地区との交流研修
2026年度活動方針・重点実施事項	製銑部スローガン「今よりも良く！ 次代へ躍進！ 九州製銑」の下、製銑部会各社は、製銑部の目標である、労働災害ゼロ、防災事故ゼロ、環境事故ゼロ、社内トップクラスのコスト競争力を目指し、風通しの良い職場づくりによる職場課題の改善と世代交代下での安全力・現場力の向上を図り、現場での「対話」「実行」と「様々な業務を安全に効率的」に実践し次代へ結びつける。製銑ファミリー丸となって災害・事故・環境トラブルゼロはもとより、次世代の現場力向上に向け、積極的に協力、支援していく。また、八幡地区のプロセス転換に関する事項への迅速かつ適切な対応の実行と推進を行い、大協会との連携も図りつつ、九州製銑の安全と製造実力向上を目指す 1. 安全・衛生・環境・防災・コンプライアンスへの取り組み ◆目標：『休業災害ゼロ、防災事故ゼロ、環境事故ゼロ』 (1) 重大リスク低減と防災対策の推進 ・6Sの深化（美化活動のその先を目指す）による安全・環境・防災に強い職場づくり ・ヒヤリハット活動推進によるリスク発掘と早期対策実行による重大リスクの低減 (2) 基本行動の徹底による人づくり ・ルールの徹底遵守 TBM・KY による具体的な安全対策立案と実行 (3) 風化防止による安全・安心なものづくり ・リメンバー、語り部活動による風化防止 (4) 風通しによる職場づくり ・職場規律の徹底維持（挨拶、6S）で決めた事を確実に徹底して守る、守らせる職場風土の構築 (5) 定年延長下での最大能力発揮のための心身の健康づくり ・各種検診での自己チェックと保健指導受診、禁煙への挑戦 2. 技能伝承・人材育成 (1) 八協会主催の各種研修の積極的な活用による人材育成（各社の積極的参加） (2) 改善・Q J K活動の量と質の向上 （主管発表会への積極的参加） (3) 製銑部会研修会の積極的参加及び大分地区との交流研修（2回／年）

2025年度活動総括	1. 安全衛生 2025年度の安全成績として、休業災害0件、不休災害2件、クレーン重大ヒヤリ1件が夏季ゼロ災活動中にて発生。久しぶりの作業への対応不備と具体的な指示不足、思いこみでの作業は大いに反省すべき点である。TBM・KYの内容充実化を課題とし実行した。良い点は作業振り返りを目標通り実行し、積極的な6S活動を展開により6Sコンクールの上位表彰を達成した。更なる手順書の充実化を図り、引き続き進化していく必要がある。 2. 環境防災 防災ヒヤリ発生なし(N 精整 保熱^レット、枯草小火) 操業、設備トラブルによる生産障害 散発風化防止は対策の展開強化し継続する。直協連携した各種訓練を実行することで初動対応は着実に向上している。⇒製鋼工程は高温溶融物を取り扱い、スプラッシュといった火種が多くリスクが高いため、防災に強い人づくりの強化を引き続き取り組んでいく。 3. 人材育成・改善活動 Web活用と面着でのHybrid方式での活動を継続推進。JK活動ではスリーピンググループゼロ達成を継続。今後も直協の連携を高め一丸となった活動を推進する。
2026年度活動方針・重点実施事項	【活動方針】 I. <u>安全・環境・防災最優先「違和感・危険を感じたら立ち止まる」全員で実践！</u> 自作業を振り返り、声を掛け合い・高め合う！ 1. <u>九州製鉄所 安全活動 3 本柱 の徹底した実践</u> 1) 基本行動の徹底による人づくり 2) 風化防止による安全安心なものづくり 3) 風通しによる職場づくり (元気な挨拶、相互声掛け) 2. <u>重大リスクへの取り組み ～一人一人が当事者。全員で検討・改善～</u> 1) 高温溶融物取扱, 湯漏れ防止, 爆発防止, 水蒸気爆発防止と被害ミニマム化 2) 予兆管理強化(安全・環境・防災・品質・操業・設備)による重大事故・長時間休止防止 3. <u>日常の6S活動の実践～現場 6S、組織 6S によりコンプライアンス・規律ある職場構築～</u> ・可燃物・水分・油溜まりの徹底排除、動線の支障物排除、リスク管理の徹底 ・全員参加の6S。まずは整理(不要物撤去)整頓を実行し続ける、習慣化する「躰・作法」 II. 重点 取り組み課題 ・安環防：クレーン、重機（フォークリフト含む）の重点指差呼称、動作確認の徹底実践。 ・品質：異材ゼロ達成（電磁等の戦略品種増およびスラブ分譲出荷・受入れ対応） ・生産：真因追及、対策実行による繰返しトラブル抑制。工程間・管制連携による組込み最大化 ・コスト：総コストマネジメント(諸経費、協連費、修繕含む)による収益改善。 ・育成：階層別人材育成と育成サポートの充実。QJKを基軸にした人材育成・標準化活動推進。 ・中長期：CN対策の確実な実行推進（立上げに向けた体制強化・関係先との連携強化）

部会名:【棒線部会】

2025年度活動総括	棒線部協力会の25年度の安全成績は軽処置災害：3件 熱中症：1件であり重篤な災害は発生しておらず、若経験者の基本行動の習得不足による事案でした。基本ルールを守り定着させるため、弱点克服テーマを掲げ小集団活動として展開少しずつ成果は出てきていると感じています。 棒線部の安全専任者が3人から2人に減りましたが、協力会の安全専任者は継続。松原部長をヘッドに安全専任者懇談会を毎月開催。問題点の吸い上げや安全活動の水平展開のレベルは落ちていないと感じています。 棒線部の安全行事として 月1回 輪番で分塊・棒鋼・線材・NSPRの工場を巡視相互乗り入れにより、風景化しがちな点を指摘する事で気づきが生まれています。 25年度を総括すれば 棒線部の業務運営方針に基づいた、重篤災害・重大事故【0】は達成。 11月11日に日本製鉄 今井社長による小倉地区ご視察において棒線部に対して、お褒めのお言葉を頂いたのが一番の喜びでした。
2026活動方針・重点実施事項	下記 棒線部の業務運営方針に基づいて、棒線部会も運営していきます。 1. 重篤災害・重大事故【0】達成 ・安全6則及びルール遵守。TBM・KYの浸透定着（自らの身を守る） ・個人・職場の危険感性向上。安全意識ボトムアップ ① 各種活動の主体的計画・実行 ② ハード対策後の安全感受性維持 ③ 危険源から退避徹底 ④ 相手を思いやる声掛け（挨拶、体調確認、作業確認、相互注意） ・6則再考活動で抽出したリスクの改善活動の継続 ・6Sの習慣化（魅せる工場）、環境・防災に強い人づくり 2. 顧客満足度【No1】への挑戦 ・品質基本行動5則の遵守、錆・ハンドリング疵の更なる改善 ・設備能力（T3-CC、新分塊、φ-ω、棒鋼、線材）を活かした新商品開発 ・九州立地、小倉オンサイト2次加工を活かした需要家・CN対応 3. 全員でつくる働きやすい職場 ・「感謝」と「褒める」対話で、風通しの良い規律ある職場作り ・2S（躰・作法）を意識し、6S活動推進、変化に強い人と物づくり ・「感謝」と「褒める」対話で快適な作業・執務環境づくり 4. 2030中期施策の計画的実行

部会名:【形鋼部会】

2025年度活動総括	昨年、当部会では形鋼部ご支援の下、「安全6則・品質5則等、規程、標準、手順、ルールの遵守」、「安心して働ける職場づくり(リスクある作業の風景化防止、特例削減等の対策実行)」といった主管部の活動方針に則り、直協一体となった活動に取り組み、安全成績としては2024年の8件から3件(不休1件・軽処置1件・熱中症1件)に減少する等、一定の成果を得る事が出来た。 一方、発生した災害は「リスクの認識不足／対応力不足」を痛感するものであり、リスク抽出・対応力強化が課題として浮き彫りとなった。本年はこの反省を踏まえつつ、昨年に引き続き、まずは重篤災害防止の為の「特例作業解除取組み」をベースに、「弱点克服活動」等の主要活動に加え、「実効的なTBM・KYの実践とレベルアップ」や「リスクアセスメント活動の活発推進」等、安全レベルの更なる底上げに向け、形鋼部会一丸となり、「焦らず慌てず丁寧な作業」を全員が心掛け、工場の高位安定生産に追従すべく尽力していく所存である。
2026年度活動方針・重点実施事項	2026年 形鋼部 運営方針 「安全・安心・安定」足元を固め、変革へ挑む 0. 重大事案ゼロ(信頼) →①ルール遵守、基本動作の徹底 ②リスクの見える化と改善 ③異材ゼロ・クレームゼロ 1. 安定生産と収益力強化 →①安定生産の追求 ②長時間トラブルの未然防止 ③造りこみ・新商品創出 ④“選ばれる商品”づくり 2. 25中期完遂→30中期スタートダッシュ →①変化・変革が進む中での体質強化 ②本質を見極め、優先業務に集中 ③スピード感ある実行 ④DX・業務刷新・効率化 3. 生き活きと成長し、活躍できる職場 →①明るく・楽しく・力強く ②風通しと連携強化 ③誇りを持ち、全員が活躍 【安全】安全で安心して働ける職場づくり ・災害の風化防止(二度と重篤な災害を発生させない!) ・高リスク作業への対応(今やっている作業は本当に安全か?疑いを持ってみよう) ・自律的な安全活動(自分の身は自分で守り、同僚・部下を守る安全活動) ～活動内容～ (1) 基本ルールの徹底とリスク抽出活動による被災リスクの低減 (2) 対話や弱点克服活動による、個々人の安全感度向 (3) 高リスク作業改善(工場長特例作業削減:各職場1件、手順見直し:全数) (4) TBM/KYのさらなる浸透とレベルアップによるリスク対応力強化 【品質】お客様の安全と信頼を守るワークマンシップの徹底実践 ・異材「0」の継続 ・クレーム「0」の継続 ・技術先進性の追求

部会名:【薄板・ブリキ部会】

2025年度 活動総括	<u>1. 安全体質強化について</u> ・部会職場内での災害発生状況は、軽処置1件発生あるも休業0件、不休0件であり、目標であった「死亡・重篤・休業災害発生ゼロ」を達成し、年々災害件数が減少している事は評価できる。一方で手元足元ヒヤリハットは5件発生しており、活動方針である「ルールに基づいた基本行動の徹底と定着」には課題を残す結果となった。引き続き直協の垣根なく声掛け・相互注意に取組み、定着を図っていきたい。 <u>2. 生産・品質目標の達成について</u> ・定例部会にて市況及び生産状況を共有化し、生産品種の構成変化へ柔軟に対応し、主管部の負託に応えると共に、2025年中期合理化や生産構造対策の完遂に向けた連携体制を強化。 ・「品質行動5則」の徹底及び主管部との連携により、品質意識の向上を図った。 <u>3. 人材育成、技能伝承について</u> ・吊荷からの離隔距離の確保等に重点を置いた繰返し指導や、変化点を意識したTBM・KYのレベルアップ指導により、一人一人の安全意識と危険感度向上を推進。 ・具体的な内容(ノウハウを含む)を明記する視点で作業手順書の見直しを継続・強化。 <u>4. 部会各協力会社間の連携について</u> ・定例部会や直協合同パトロールの実施により各職場の改善情報や課題を共有化。 ・大協会／薄板部会と各職場を訪問し意見交換及び情報の共有化を実施し連携を強化。
2026年度 活動方針・ 重点実施事項	<u>1. 安全体質強化について</u> 「安全3本柱の浸透と定着」を柱に、基本行動の徹底と職場環境の改善に取組み、無災害職場の実現と安定生産職場の構築を目指す。 ① 6則を含むルール遵守と安全基本行動の実践 ② 自主自律行動の定着と安全意識のレベルアップ ③ 直協一体での将来を見据えた最適収益基盤の検討と推進 ④ ワークエンゲージ向上を意識した職場づくり 上記、重点項目の実行により、「①不休以上の災害発生ゼロの継続」と「②クレーン・環境・防災ヒヤリ発生ゼロ」を目指す。 <u>2. 生産・品質目標の達成について</u> ・「品質行動5則」の浸透と実践により「異材出荷ゼロ」の継続。 ・製品の丁寧な取扱い等、コスト意識を持った作業を行うと共に、主管部と連携して、市況の変化に対応した最適な操業を目指す。 <u>3. 人材育成、技能伝承について</u> ・自主自律行動による安全意識と危険感度の高い人づくり。 ・スリーピングサークル「ゼロ」の必達と「もう1件」を意識したQJK活動。 <u>4. 部会各協力会社間の連携について</u> ・定例部会で情報の共有を活性化し、生産環境の変化に迅速な対応を図る。 ・主管部とベクトルを合わせた活動やパトロールを展開し、部会全体でレベルアップを目指す。

部会名:【電磁鋼板部会】

2025年度活動総括	1. 安全・環境・防災活動 昨年に引き続き風通しの良い職場の基盤作りをベースに、6 則遵守の浸透・徹底、変化点の KY・TBM の実行、職場全体の安全意識レベルアップに重点を置いた取り組みを展開。この結果、休業災害、熱中症の発生はなく、不休業災害1件、軽処置災害5件でした。 但し、不休、軽処置の大半は、繰返し災害となる切創、段差での躓き等、行動面での不注意によるもので、危険予知訓練などの繰返し教育・指導を通じて「安全に強い人」の育成に重点的に取り組み中。 2. 品質 異材、重大クレームなど重大品質トラブルの発生はゼロ。九州製鉄所の調達先監査に基づき、精整に関する改善推奨事項について、標準書見直しなど、電磁鋼板技術室、電磁鋼板管理室の指導に応じた改善取り組みを継続。 3. 生産 他 品種高度化対策の成果発揮に向け「設備、人、組織」の総力を結集し、直協一体となった取り組みを推進。要人員対策については、採用拡大の取り組み強化、離職防止に向けた暑熱対策など職場環境改善の取り組みに注力。並行して、能力に影響する置き場・物流課題に対し、製品置き場拡張、建屋内の雨漏れ、結露、異物落下対策など、直協連携して改善取り組みを展開し、作業環境を含めて工場内の環境改善を継続推進中。
2026年度活動方針・重点実施事項	2026 年度は、引き続き主管部門方針を基準として、直協一体となった活動を展開する。2030 中期の初年度となるが、2030 中期内での電磁鋼板の市場拡大を見据え、電磁グループの一員として設備、物流、製造体制などの大きな変化に対し、生産に追われることの無い足元の状況をフルに活用し、製造実力の向上に取り組み着実に成果を上げていくべく、以下の取り組みを進める。 1. 安全の確立 (1)方針 対話とルール遵守とともに成長 直協で築く安全電磁 (2)目標 1) 無災害職場の実現 2) 6 則遵守の浸透・徹底 3) 衛生管理と健康づくり (3)重点活動項目 1) 安全基盤強化の取り組み ①安全教育の維持・向上、②安全衛生活動の仕組み強化、③6S 活動の愚直な継続 2) 安全 3 本柱の浸透と定着 ①基本行動の徹底による人づくり、②風化防止による安全安心なものづくり、③風通しの良い職場づくり 3) 快適な作業・職場環境に向けた継続的・計画的な衛生改善の推進 4) 健康で効率的かつクリエイティブな働き方の実現に向けた心身の健康づくり 2. 品種高度化対策の成果発揮 直協一体となり「設備、人、組織」の総力を結集した品種高度化対策の成果発揮。 3. 人材育成の推進 「安全に強い人づくり」を基軸とした、弱経験者の育成を含めた人材の底上げ強化。

部会名:【スパイラル鋼管部会】

2025年度活動総括	1. 安全・環境・防災 昨年度も当部会は、安全スローガン「守るぞ基本(ルール)、徹底しよう丁寧な仕事」を合言葉に、主管工場のご支援のもと、基本行動と基本ルールに基づいた行動の実践に直協一丸となって取り組んだが、昨年6月に転動するパイプへ挟まれた不慮災害を発生した。一歩間違えれば、重篤な災害となっていた災害であり、改めて安全管理の重要性を痛感する一年となりました。2026年度は、6則や工場禁制事項をはじめとした基本行動・基本ルールの継続的な浸透・定着活動を基軸に無災害達成に向け取り組む。 2. 品質 品質においては、直協合同での品質委員会による情報共有とリスク低減活動に取組み、年間を通じて所外流出異材「ゼロ」を継続中。しかしながら、工場内品質事案はゼロにならず、更なるリスク低減と丁寧な作業を中心とした取組を直協一体で継続する。 3. 生産 2025年度は引き続き人手不足や価格高騰等に伴う建設需要の低迷など厳しいマーケット環境の中、直協一体となってピークダウンや品種構成の変動への対応を実施してきた。2026年度においても厳しい環境は継続する予測であるが、電炉建設向けの鋼管杭製造などの物件へ確実に対応出来るよう、更なる能力増強を図ると共に将来に向けた省人化案件へ部会一丸となって取り組み、持続可能な操業体制の構築に向け尽力していく。
2026年度活動方針・重点実施事項	スローガン：ルール遵守を再徹底し、着実な成長を目指そう <u>目標</u> 安全・環境・防災 : 『無災害、環境防災トラブルゼロの達成』 品質・コンプライアンス : 『異材・コンプライアンス事案ゼロの達成』 生産・設備 : 『損益、コスト、各種管理指標の安定達成』 職場活性化 : 『風通しの良い、働きがいのある職場構築』 <u>重点取組ポイント</u> 【安全】安全最優先の基本行動再徹底による『重篤災害ゼロ』 【環境】日常点検の実践と徹底による排水水質トラブル防止 【防災】6S活動を通じた防災リスクの低減による防災トラブル防止 【品質】品質基本行動5則の浸透・定着による異材発生防止 【操業】丁寧な作業の徹底実践による安全操業・安定生産 以上、部会員が一丸となって推進し、更なる「安全」・「安心」・「安定」の生産職場構築に注力する。

部会名:【資源化推進部会】

2025年度活動総括	【活動総括】 1. 当部会所属会社8社は、安全活動3本柱の徹底遵守により、死亡災害、重篤災害の撲滅に向け、安全衛生・人材育成部会等の諸活動や教育活動に積極的に参画し、安全に強い職場づくりに努めてきた。その結果、休業災害・不休災害の発生がなかったことは評価できる。ただ、構内交通事故の発生があり、当部会所属会社の「職場リスク対応」や「一人作業時における行動前の安全確認の徹底」の浸透と定着に、まだまだ課題があることが認識された。 2. 当部会所属会社各社の協調と連携強化を図り、各社の安全意識高揚を図り、「安全・環境・防災・交通安全」の災害・事故「0」の目標達成に向け、各事業所の活動の底上げに努めた。 【重点実施事項】 1. 九州製鉄所（八幡地区）、八協会安全衛生活動情報の共有化推進 ・当部会所属会社への関連情報の共有と周知（頻度：1回/月） ・各事業所での安全取組の事例紹介 ・災害速報等の各事業所への横展開 2. 九州製鉄所（八幡地区）、八協会安全衛生の諸活動へ積極的参画 ・各種講演会・研修会・資格取得等 3. 主管部門との合同での安全衛生環境防災パトロールの実施、合同防災訓練等のフォロー
2026年度活動方針・重点実施事項	1. 2026年度 活動方針 【活動方針】 資源化推進室の運営方針である「厳しい経営環境下での安定生産への貢献とコスト競争力をもつ静脈基盤強化への挑戦」（変化に柔軟な対応とトラブル最小化による最大パフォーマンス発揮）を基本とし、資源化推進部会が一体となり目標達成を実現する。 ① 安全基盤強化の取り組み ② 安全3本柱の浸透と定着（基本行動の徹底・風化防止・風通し） ③ 快適な作業・職場環境に向けた継続的・計画的な衛生改善の推進 ④ 65歳までの能力最大発揮を目指した心身の健康づくり 2. 安全関係方針及び目標 【安全方針】 ・直協一体となって三現主義（現場・現物・現実）の下、対話を重視した改善を推進し、より安全で健康な職場づくりとルールを守り守らせる人づくりを目指す 【目標】 ・安全 ⇒ 休業災害以上： 0件 ・防災 ⇒ 火災爆発事故： 0件 ・環境 ⇒ 環境汚染事故： 0件 ・交通安全 ⇒ 交通加害事故： 0件 3. 人材・改善・JK活動方針 ・八協会開催の研修会を活用した人材育成の推進

部会名:【設備部会】

2025年度活動総括	安環防を最優先として、特に安全6則＋4則の定着化と繰り返し災害の撲滅を推進した。また、操業及び設備稼働の安定化と生産構造対策の円滑な対応に向け、会員各社連携強化、部会活動活性化を進め 所、及び設備部への貢献を図った。 〈重点実施事項〉 ●安全・環境・防災 ①安全基盤強化 ・共通遵守事項6項目の中でも、玉掛作業、吊り荷に関して重点的な現場パトロールと対話による個々人のルール遵守意識を向上させた。 ・道工具に起因した災害撲滅（やってはならない道工具の使い方を活用） ・労災隠し撲滅（現認者がまず通報）の再徹底 ●品質改善活動 ①製鉄所コスト改善 ・業務業績審査制度の事案を各社へ横展開により整備・工事効率化へ取組んだ。 ・定・年修周期延長に向けた業務改善、改良案件を提案した。
2026年度活動方針・重点実施事項	【活動方針】 九州製鉄所との連携強化、会員各社への貢献とし、それらを可能にする議論の活性化に取り組む。とりわけ重点的な活動としては、①安全・環境・防災で、安全衛生企画委員会、②品質向上、修繕費効率化、生産安定化、人材育成については、業務企画委員会、設備部会の専門委員会を中心に部会の積極的な活動を推進し、所、及び設備部の負託に答える。 【重点取組方針】 1. 安環防 ① 安全基盤強化の取組 ・手先災害の防止につなげる活動の実施 ・吊荷に対する（3.3.3）運動の徹底、作業者全員に意識浸透させる。 ・6則違反・条件設定不備による災害防止の推進。 ・熱中症対策において、WBGT 値に準じた管理の徹底と重篤化防止。 ② 環境防災 ・防災に特化した重点パトロールの実施 2. 品質 ① 改善提案活動の推進 ・業務業績審査制度の改善事例を各社へ横展開し作業効率化へ取組む。 ② 生産品質安定化への貢献 ・施工品質トラブル撲滅に向けて、事例発生時に水平展開を実施、類似トラブル検討会と現場最前線までの周知活動を実施する。

部会名:【エネルギー部会】

2025年度活動総括

2025 年度エネルギー部会活動方針・重点実施事項	
重点活動項目 1. 安全：労働災害ゼロの達成 (1) 基本ルール・基本行動の徹底遵守 ・ 6 則+4 則の遵守：条件設定の適正化、救急搬送の徹底、TBM-KY フォーシート活用の浸透と定着 ・ 6 則+4 則の浸透：個々人の意識ばらつきを改善 ・ 各職場において抽出した弱点克服活動を継続 (2) 風化防止：過去災害からの教訓、リメンバー活動の推進、八幡 30NO’ S の運用による浸透と定着 (3) 風通し：直協でのリスク共有、確実な対策の実施、対話活動の推進、労災隠しの撲滅 2. 環境防災：環境事故及び防災事故ゼロの達成 (1) 事故処置演練の継続的実行 (2) ルール遵守…報告の徹底と適切な対応 3. 安定操業：エネルギーの安定供給への貢献 予兆管理（異常気象他によるトラブル未然防止、類似トラブル再発防止 4. コスト改善：QJK 活動の積極的推進、QJK 発表大会への参加	活動実績 1.労働災害ゼロの達成（休業災害以上ゼロ） 無災害 8 月 47 期達成 (1) 基本行動…遵守項目 13 項目遵守について、朝会等を通じて啓蒙活動継続実行。 各社で弱点克服活動を実施。 (2)風化防止…夏季及び年末年始ゼロ災害活動では各社で現場パトロールを実行。各社にて過去の災害事例をおさらい。 (3)風通し…直協安全総対話を毎月開催。年末には直協ぜんざい大会に参加。夏季・新年安全祈願祭、新年交歓会に参加。 2.環境・防災…環境・防災事故ゼロを達成 ・ 事故処置演練について、1 回/月実行 ・ 主管元からの勉強会への参加 3.安定操業への貢献 異常気象が多発する中で台風・集中豪雨事案では、直協一体となり対応 4. コスト改善:1 回/隔月の QJK 発表会へ参加

2026年度活動方針・重点実施事項

2026 年度 エネルギー部会活動方針

エネルギー部活動方針に同調して活動を行い、協力会社一致団結して変化に対応

1. 安全：労働災害ゼロの達成

(1)基本ルール・基本行動の徹底遵守

・ 6 則+4 則の遵守、条件設定の適正化、救急搬送の徹底、TBM-KY フォーシート活用の浸透と定着

・ 6 則+4 則を浸透させ個々人の意識ばらつきを改善

・ 各職場において抽出した弱点を克服する活動を継続

・ 交通ルールの遵守

(2)風化防止：過去災害からの教訓、リメンバー活動の推進、八幡 30NO’S の運用による浸透と定着

(3)風通し：直協でのリスク共有、確実な対策の実施、対話活動の推進、労災隠しの撲滅

(4)作業動線を意識した 6S 活動の定着：全員参加の 6S 活動の推進によるリスク排除

2. 環境防災：環境事故及び防災事故ゼロの達成

(1)事故処置演練の継続的実行

(2)ルール遵守…報告の徹底と適切な対応

3. 安定操業：エネルギーの安定供給への貢献

予兆管理(異常気象対応他)によるトラブル未然防止、類似トラブル再発防止

4. コスト改善：QJK 活動の積極的推進、QJK 発表大会への参加

部会名:【厚板部会】

2025年度活動総括	『安全が第一優先』を全職場へ浸透 - 安全6則遵守を基本としたルールの徹底遵守 - 特例作業改善の推進 - 重篤災害に繋がる作業の改善 - 繰り返し災害の撲滅 - 設備本質安全化の推進 - 可動設備、危険個所と作業者を分離する対策実施 - 新規導入設備の安全対策検討実施 - 多能工促進による負荷変動対策 - クラッド生産量増化に向けた増員と負荷変動吸収 - 職場環境の改善 - 熱中症予防対策の充実、負荷が高い作業の改善 - 女性雇用に向けた環境整備推進 八幡厚板部会としての活動をスタートさせ、いかなる時も安全が第一優先を全ての職場に浸透、ルールを守り抜くことを活動してきた。残念ながら確認不足による軽処置災害やクレーン・玉掛によるヒアリを発生させた。先ずは安全確認の基本に立ち返るべきだと反省させられた。
2026年度活動方針・重点実施事項	安全の八幡厚板』を構築するために【いかなる時も安全が第一優先】を全ての職場に浸透・定着させることを念頭に指差呼称確認の徹底による『基本ルール』の遵守と相互注意ができる環境づくりに取り組む。 【活動方針】 基本の実践“声出す厚板”徹底良いか！ 『安全の八幡厚板』の構築 - 安全健康、環境防災>品質>生産出荷>コスト 順番を間違えない - 修理札運用の定着化 立入禁止看板設置の徹底 - 環境・防災トラブルの未然防止 - 各種パトロール(重大リスク低減活動、環境防災パトロール)による課題抽出と対策推進 【活動目標・重点実施事項】 - 災害0件、防災トラブル0件、クレーン・玉掛によるトラブル0件 - 修理札・立入禁止看板の定着 - 指差呼称確認による確実な確認作業の定着

部会名:【関連部会】

2025年度活動総括	【活動総括】 1. 関連部会所属18社は、安全活動3本柱の「浸透と定着」による重篤災害・繰り返し災害の撲滅に向け、安全衛生・人財育成に関する諸活動や教育に積極的に参画し、管理者と現場第一線の担当者間に対話を重ねながら、安全に強い職場づくりを目指しましたが、結果として、休業災害1件、不休業災害8件、軽処置災害14件、熱中症3件を発生させ、災害の芽を摘み取ることができませんでした。 【重点実施事項】 1. 八協会経営委員会・安全衛生委員会情報の共有化推進（毎月1回、関連部会にて） ・八協会安全衛生活動情報・九州製鉄所八幡地区の生産計画情報（概要）を共有 ・各事業所の安全取組みの紹介（各社より安全衛生活動を報告） ・災害速報（抜粋）の紹介・水平展開の実施 2. 九州製鉄所及び八協会安全衛生に関する諸活動への積極的な参画 ・各種講演会、研修会への出席等 3. 各社毎の目的を明確にした安全衛生及び防災パトロールの実施 ・禁制事項(安全6則)の遵守、変化点でのTBM、目の行き届き難い職場、作業動線を意識した6S等 4. 関連部会安全研修会の開催 ・安全衛生活動の情報交換会及び懇親会
2026年度活動方針・重点実施事項	【活動方針】 1. 関連部会所属18社は、安全活動3本柱の「浸透と定着」による重篤災害・繰り返し災害の撲滅に向け、安全衛生・人財育成に関する諸活動や教育に積極的に参画し、管理者と現場第一線の担当者間に対話を重ねながら、引き続き安全に強い職場づくりの実現を目指します。 【重点実施事項】 1. 八協会経営委員会・安全衛生委員会情報の共有化推進（毎月1回、関連部会にて） ・八協会安全衛生活動情報・九州製鉄所八幡地区の生産計画情報(概要)を共有 ・各事業所の安全取組みの紹介（各社より安全衛生活動を報告） ・災害速報（抜粋）の紹介・水平展開の実施 2. 九州製鉄所及び八協会安全衛生に関する諸活動への積極的な参画 ・各種講演会、研修会への出席等 3. 各社毎に目的を明確にした安全衛生・防災パトロールの実施 ・禁制事項(安全6則)の遵守、変化点でのTBM、目の行き届き難い職場、作業動線を意識した6S等 4. 関連部会安全研修会の開催 ・安全衛生活動の情報交換会及び懇親会